

令和 9 年度

入学者選抜に関する要項



- * 教育学部
- * 地域科学部
- * 医学部
- * 工学部
- * 応用生物科学部
- * 社会システム経営学環

令和 8 年 7 月

目 次

Ⅰ	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ	募集人員	7
Ⅲ	出願期間・試験実施日等	9
Ⅳ	出願資格	10
Ⅴ	岐阜大学入学資格審査	11
Ⅵ	障害等のある者の出願にあたっての事前相談	13
Ⅶ	入学者選抜方法等	14
	1. 一般選抜の入学者選抜方法等	14
	2. 学校推薦型選抜及び帰国生・社会人選抜の入学者選抜方法等	16
	3. 各選抜の実施教科・科目及び配点等	18
	4. 大学入学共通テストの受験を要する教科等	27
	(1) 一般選抜	27
	ア 前期日程	27
	イ 後期日程	30
	(2) 学校推薦型選抜Ⅱ	32
	5. 各選抜の実技検査・小論文・面接	35
	6. 各選抜の入試方法等	37
	(1) 学校推薦型選抜	37
	(2) 社会人選抜	47
	(3) 帰国生選抜	49
	(4) 私費外国人留学生選抜	50
Ⅷ	学生募集要項・大学（学部等）案内の入手方法等	52

＊本要項において「個別学力検査」及び「個別学力試験」とは、本学が実施する教科・科目に係る個別テストをいいます。

学生募集要項の入手方法および出願方法

インターネットを利用した出願になります。

学生募集要項は本学ホームページに電子ファイル(PDF形式)で掲載し、冊子による配布は行いません。

本学への出願はインターネットの専用サイトから各自で登録していただきます。

ただし、一部の出願書類は郵便により提出していただく必要があるため、必要な様式は本学ホームページに電子ファイルで掲載しますので、各自でダウンロードしたうえで作成し郵送していただきます。

これらの情報は各選抜要項及び本学ホームページ「入試案内」でお知らせします。

I アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

◎ 岐阜大学

岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。

大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。

1. 知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぼうとする人
2. さまざまな見方や論理的な考え方ができる人
3. 相手の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人
4. 積極的に課題を探索しようとする人
5. これからの地域や国際社会で活躍したい人

上記の学力や意欲などを有する学生を選抜するために、各学部において、それぞれのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを踏まえ、学力試験や小論文試験などにより、受験者を多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。詳しくは、各学部のアドミッション・ポリシーや学生募集要項をご覧ください。

◎ 教育学部

<基本理念>

岐阜大学教育学部は、岐阜県を中心として活躍する、優れた専門的知見と指導能力をもつ教員、ならびに社会の多様な学習要求に応える教育専門職及び教育関係者の養成を目的とする学部です。本学部は、教育を通じて、平和で豊かな世界の実現に貢献する人材を育成します。

<求める学生像>

[知識・技能]

大学での学修に必要な教科・科目の基礎知識、実技系においてはその基礎的实践能力を有する人

[思考力・判断力]

知識・技能を批判的に継承しつつ、多様かつ創造的な思考・判断ができる人

[表現力]

子どもや保護者をはじめ社会の様々な人の声に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる能力をもつ人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

大学並びに教育実践の場における様々な学修を通じて、自ら進んで他者と協働し、教職に対するよりよい理解を得ようとする人

[その他の教育学部が求める要素]

・豊かな人間性の上に、教育に対する情熱と責任感を有する人

・岐阜県を中心とした教育現場で活躍できる人

（学校推薦型選抜Ⅱ（ぎふ清流入試）においては、岐阜県内の教員として活躍できる人）

学力の3要素等			知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の教育学部が求める要素
選抜方法及び入試区分							
選抜方法ごとの見える力	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
		個別学力試験	○	◎	○		
		実技検査（音・美・体）	◎		◎		
		講座面接（音・美）	◎	○	◎	◎	
		共通面接			○	◎	◎
	学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	◎	○			
		推薦書	○	○	○	○	○
		岐阜県教員を目指す学修計画書					◎
		面接	個人	○	◎	◎	○
		音楽歴調書（音）	◎		◎		
		作品（美）	◎		◎		
		運動歴調書（体）	◎				
		調査書	○				

◎：最重点評価項目，○：重点評価項目

入学選抜の基本方針

<前期日程試験>

大学入学共通テストの成績により、卒業後に教師として必要となる幅広い基礎的学力を評価します。また、個別学力検査では、志望する講座により指定がありますが、前期日程において英語、数学、国語及び理科（物理・化学・生物）から2教科（音楽教育講座及び美術教育講座は実技と講座面接。保健体育講座は体育実技のみ）の試験を課し、教育学部で学ぶのに必要な論理的思考力（実技系は実技能力）を評価します。また、全ての講座において共通面接を実施し、表現力や協働性、教育に対する熱意を総合判定の資料とします。これらを合わせて、可否を判定します。配点は、本要項を参照してください。

<学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）「ぎふ清流入試」>

本学部で行う「学校推薦型選抜Ⅱ（ぎふ清流入試）」は、岐阜県内の教員として働きたい人を対象とした入学試験です。大学入学共通テストの成績により、高等学校において学習した教科・科目の基礎的知識・技能及び岐阜県教員として働くための資質とその表現力を評価します。また、面接により、知識・技能や表現力、協働性、岐阜県教員に対する熱意を評価します。併せて、音楽教育・美術教育・保健体育においてはそれぞれ調書や作品により、基礎的実践能力を評価します。これらの評価を合わせて、可否を判定します。配点は、学生募集要項を参照してください。

◎ 地域科学部

<教育理念・目標>

地域科学部は、「地域」がキーワードとなるさまざまな社会的及び文化的課題について、人文科学、社会科学ならびに自然科学の基礎学力をもとにして、総合的に考究する能力を育てることを目標としています。これにより発展的な地域創成や、豊かな社会形成に貢献でき、リーダーシップを発揮できる人の育成を目指します。

<求める学生像>

このような理念・目標のもと本学部の学生には、主に次のような資質を持っていることを望みます。

1. 人間社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。
2. 物事をさまざまな視点から総合的かつ論理的に考えることができる。
3. 自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。
4. 他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現する能力を持っている。
5. 幅広い学問分野を学びながら、自己の専門分野を次第に決定してゆきたいという意欲を持っている。

<学力の3要素について>

本学部は、学力の3要素のどの要素も重視しています。知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、その他の要素を相互に関連付け、相互に補い合うように学んでいくことを期待しています。

[知識・技能]

人間・社会の営みや自然との関わりに基礎的な知識、技能を持っている。

[思考力・判断力]

さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考えることができる。

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

[表現力]

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

[その他の要素]

人間・社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。

学力の3要素等 選抜方法及び入試区分		知識・ 技能	思考力・ 判断力	表現力	主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度	その他の 要素
大学入学共通 テスト	一般(前期・後期)、学校 推薦型選抜Ⅱ	○	○			
英語または数学	一般(前期)	○	○	○	○	○
小論文	一般(前期・後期)、 学校推薦型選抜Ⅰ、社 会人、帰国生	○	○	○	○	○
面接	学校推薦型選抜Ⅰ、 学校推薦型選抜Ⅱ、社 会人、帰国生	○	○	○	○	○

入学者選抜の基本方針

<前期日程試験>

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入学共通テストを課しています。個別学力試験では、数学または英語(どちらかを選択)、および小論文試験を課しています。前者は、高校で学んだ数学または英語の学力を評価します。また、後者は、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。配点は、本要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大切に、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<後期日程試験>

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入学共通テストを課しています。個別学力試験では、小論文試験を課しています。小論文試験では、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。配点は、要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大切に、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)>

対象は、高等学校(中等教育学校を含む。)の専門学科又は総合学科、及び特別支援学校高等部の卒業見込みの者です。推薦書、志望理由書及び調査書並びに小論文試験と面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に可否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)>

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入学共通テストを課しています。また、推薦書、志望理由書及び調査書並びに面接試験では、論理的思考力・表現力や関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に可否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。高校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<社会人選抜>

対象は、社会経験を積み、大学で学ぶ意欲のある社会人です。出願書類、小論文試験及び面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に可否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。幅広い豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

<帰国生選抜>

出願書類、小論文試験及び面接試験により、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点、学習意欲、問題意識などを評価し、総合的に可否を判定します。配点は、学生募集要項を参照ください。各自の学校で履修しているどの授業も大事にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

◎ 医学部 医学科

<教育理念>

岐阜大学医学部医学科は、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って教育・研究・臨床に邁進しています。その理念の下に医学の基礎と高度な専門知識・技能を有し、世界と地域の医療・医学の発展に貢献できる優れた医療人・医学研究者を育成することを最大の使命としています。

<求める学生像>

1. 広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人
2. 自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人
3. 協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人
4. 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人

5. 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
6. 責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人

[思考力・判断力]

自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人

[表現力]

協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

(a) 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人

(b) 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人

(c) 責任感と倫理観が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

学力の3要素等 選抜方法及び入試区分		知識・技能	思考力・ 判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度		
					(a)	(b)	(c)
大学入学共通 テスト	一般 学校推薦 型選抜Ⅱ	○	○				
個別学力試験	一般	○	○				
面接	一般 学校推薦 型選抜Ⅱ		○	○	○	○	○
小論文	学校推薦型選 抜Ⅱ	○	○	○	○		○
調査書等	一般 学校推薦 型選抜Ⅱ	○			○	○	○

入学選抜の基本方針

<前期日程試験>

大学入学共通テスト、個別学力試験（数学・理科（2科目）・外国語（英語））を課し、幅広い基礎学力に加えて、特に理数系の応用力および英語力を問い、論理的思考と問題解決能力を評価します。また、面接および調査書により、医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性・協調性を評価します。配点は、本要項を参照してください。

<学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）>

大学入学共通テストで幅広い基礎学力を問うことに加え、推薦書、志望理由書、調査書、小論文及び面接により人間性豊かで表現力に富み、将来優れたリーダーシップを発揮する医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性および勉学の継続意欲を評価します。なお、選抜は大学入学共通テストに基準点を設け、基準点以上を得た受験者の中から行います。配点は、学生募集要項を参照してください。

◎ 医学部 看護学科

<教育理念>

次世代における保健・医療・福祉を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、豊かな感性と人間性を備え、地域における健康課題に対応する質の高い看護が実践できる能力を身に付け、看護専門職としてリーダーシップを発揮し、グローバルに活躍する人材を育成する。

<求める学生像>

1. 看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人
2. 身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人
3. 高い倫理観に支えられ、自分を律する能力を持っている人
4. 他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人
5. 看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
6. 他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人
7. 自己・周囲の変化に応じて対応できる能力を持っている人
8. 自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

<学力の3要素について>

[知識・技能]

看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人

[思考力・判断力]

- ・身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人
- ・高い倫理観に支えられ、自分を律する能力を持っている人

[表現力]

他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
- ・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人
- ・自己・周囲の変化に応じて対応できる能力を持っている人

[その他の要素]

自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
大学入学共通テスト	一般（前期・後期）	○	○			
個別学力試験	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（後期），学校推薦型選抜Ⅰ，社会人		○	○	○	○
面接	一般（後期），学校推薦型選抜Ⅰ，社会人		○	○	○	○
調査書	学校推薦型選抜Ⅰ	○			○	○

入学者選抜の基本方針

＜前期日程試験＞

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力を評価するために大学入学共通テストと個別学力検査として国語又は数学、英語を実施します。

＜後期日程試験＞

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力さらに目的意識、社会への関心、表現力を評価するために大学入学共通テストと個別学力検査として小論文、面接を実施します。

＜学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）＞

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な基礎学力の程度と、看護への強い関心・意欲・探究心など看護職者としての適性を調査書、小論文、面接により総合的に判断します。

＜社会人選抜＞

社会人経験者を対象に、人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護実践能力と幅広い教養と豊かな人間性を身につけようとする者に強い意欲を有する者を求めています。アドミッション・ポリシーに沿って総合的に評価するために、小論文、面接を実施します。

◎ 工 学 部

＜教育目的＞

工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養います。同時に、専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育みます。これにより、人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成を目指します。

＜求める学生像＞

本学部では、21世紀の社会を支える先端的な工業技術に対する深い関心があり、以下のような資質を持った学生を求めています。

1. 先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、新しい発想ができる人
3. 相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人
4. 知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人
5. 国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

多様な入試を実施し、個性の異なる学生を受け入れて積極的に活性化を図っています。

＜学力の3要素について＞

〔知識・技能〕

先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人

〔思考力・判断力〕

理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、創造性豊かな発想ができる人

〔表現力〕

相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人

〔主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〕

知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人

〔その他の要素〕

国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性	その他の要素
選抜方法及び入試区分						
大学入学共通テスト	一般，学校推薦型選抜Ⅱ	○	○			
個別学力試験	一般	○	○	○		
面接	学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ		○	○	○	○
調査書	学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ	○	○		○	

入学者選抜の基本方針

＜前期日程試験・後期日程試験＞

大学入試センターが実施する試験を課し、受験する者がこれまでに身につけた基礎学力を評価します。個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科（物理又は化学）並びに工学技術者として必須である英語を課し、大学入試センターが実施する試験と個別学力検査の合計点により合格者を決定します。配点は、入学者選抜に関する要項を参照ください。

＜学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）＞

対象は、高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の工業に関する学科を卒業見込みの者で、在籍中に宇宙人材の育成を目的とし、大学又は国立研究開発法人が5日以上にわたって実施する宇宙工学に関する講座を修了した者、又は現在受講中の者です。調査書により高等学校における基礎学力の評価を行うとともに、面接により受験者の工学に対する学修意欲・熱意・関心の程度などを重点的に評価します。配点は、学生募集要項を参照ください。

＜学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）＞

普通科又は理数に関する学科又は工業に関する学科という各高等学校の教育課程編成の違いに応じた特別入試を行っています。いずれの入試も大学入試センターが実施する試験と面接により可否を判定します。大学入試センターが実施する試験により高等学校における基礎学力の評価を行うとともに、面接により受験者の工学に対する学修意欲・熱意・関心の程度などを重点的に評価します。配点は、学生募集要項を参照ください。

◎ 応用生物科学部

＜求める学生像＞

応用生物科学部は、応用生物科学の学理を修得し、生物産業の発展や持続可能な生物生産、人間を含む生態系の保全および人と動物との共生などの分野で活用することによってより良い社会を実現したいと考える学生を求めています。
このためには、大学での学修に必要な基礎知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性などの資質が必要です。応用生物科学部では、これらの資質を多様な入試で判定し、応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科及び共同獣医学科の具体的な目標の達成のために強い意欲を持って学習に励む学生を受け入れます。
各学科における受け入れ方針は以下のとおりです。

応用生命化学科では、化学、生物学、生命情報科学を基盤とする多角的視点から生命の本質を探究・理解し、生命科学に立脚したアプローチにより、現代社会が抱える地球規模の諸課題を解決に導く強い意欲を持つ以下のような人材を求めます。

- a. 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を持っている人
- b. 地球規模での持続可能な社会システムへの転換に意欲を持っている人
- c. バイオテクノロジーによる新分野、新価値の創造に意欲を持っている人
- d. 生物資源・生体成分の機能解明とその利活用に意欲を持っている人
- e. 石油や動物に依存しない再生産可能なバイオものづくりの推進に意欲を持っている人
- f. 健康長寿社会、脱炭素社会、バイオエコノミー社会の実現を達成する意欲を持っている人

食農生命科学科では、人が生きるために必要不可欠な「食」に強い関心を持ち、食料の生産から消費・廃棄に至るフードチェーンにおける社会的課題の理解及び農業科学と食に関する最先端技術を融合させることで、人と地球の健康に資する持続可能な「食料システム」の創出に強い意欲を持つ以下のような人材を求めます。

- a. 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を持っている人
- b. 農作物・家畜の生命現象、及びバイオテクノロジーによる機能性作物・畜産物の開発に意欲を持っている人
- c. フードテックによる健康的で、機能的な食品の開発、及び安全性の追求に意欲を持っている人
- d. 広い視点から「食料システム」をとらえる意欲を持っている人
- e. 食科学及び食料生産に強い関心を持ち、脱炭素化社会における持続的農業生産体系と技術の確立に意欲を持っている人

生物圏環境学科では、生物多様性に支えられた生態系サービスの利活用を通じて、持続可能な社会を実現することに強い関心を持ち、生物環境の科学的理解及び利活用技術、社会実装の方法を修得することで、生態系サービスの利活用を通じて、持続可能な社会を実現することに強い意欲を持つ以下のような人材を求めます。

- a. 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を持っている人
- b. 地球や地域における水・物質循環ならびに生物から構成される生物環境及び生態系の科学的理解に意欲を持っている人
- c. 動物の生息域内及び域外保全をはじめとする生物の多様性保全活動を支えることに意欲を持っている人
- d. 農林業等の一次生産活動をはじめとした人間活動にともなう生物環境が生み出す多様な生態系サービスの持続的な利活用技術の確立に意欲を持っている人
- e. 生態系サービスの効果的な利活用を通じた持続可能な社会の実現に意欲を持っている人

岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科では、動物、人間社会、環境の健全性の維持に貢献し、多様化、高度化、国際化しつつある獣医学に対する社会的要請に対応できる獣医師の養成を目指しています。そのため、以下に掲げる意欲を持つ人材を求めます。

- a. 高度な獣医学教育に対応し得る高い総合的学力を備えている人
- b. 国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な語学力と理系の知識を備えている人
- c. 自然や生命に強い興味を持ち、それを探求する意欲を持つ人
- d. 獣医学に関わる高い倫理観と使命感、コミュニケーション能力を備える人
- e. 獣医師としての目的意識を持ち、獣医学を通じて社会の発展に貢献する意欲を持つ人
- f. 公衆衛生や環境衛生、動物の病気の診断・治療等の幅広い分野について強い意識を持って学習に励む人
- g. 国際交流に積極的にに関わり、獣医師として世界に貢献する意欲を持つ人

＜受け入れる学生に求める学習成果＞

本学部は、「学力の3要素」を次のように4要素に再分類し、これまでの学習の成果を評価します。

- [知識・技能]
応用生物科学の学理の理解に必要な基礎能力、課題に対する知的な好奇心
- [思考力・判断力]
科学的な思考、科学的な根拠に基づいた適切な判断
- [表現力]
相手の意見に耳を傾け、自分の考えを的確に伝える
- [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]
独創的な取り組み、他者との協調性

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性
選抜方法及び入試区分					
大学入学共通テスト	一般、学校推薦型選抜Ⅱ	◎	○		
個別学力試験	一般	○	◎	○	
面接	学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ		○	◎	◎
小論文	学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ	○	◎	◎	○
調査書	学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ	○			○

◎:最重点評価項目、○:重点評価項目

入学者選抜の基本方針

＜前期日程試験＞

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、高度な専門教育に対応し得る高い総合的学力並びに国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な学力と理数系の知識に関する能力を重視して選抜します。そのために、大学入学共通テスト及び個別学力試験（数学及び理科）により農学の学理の理解に必要な基礎学力、課題に対する知的な好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を評価します。

志願者は、出願時に希望する学科を第二志望まで申請することができ、大学入学共通テスト及び個別学力試験の合計成績の上位者優先で希望の学科に配属されます。配点は、本要項を参照してください。

共同獣医学科では、大学入学共通テスト及び個別学力試験により「獣医学の学理の理解に必要な基礎学力」を評価します。

＜後期日程試験＞

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、高度な専門教育に対応し得る高い総合的学力並びに国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な学力と、特に理科の知識に関する能力を重視して選抜します。そのために、大学入学共通テスト及び個別学力試験（理科）により農学の学理の理解に必要な基礎学力、課題に対する知的な好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、自分の考えを的確に伝える表現力を評価します。

志願者は、出願時に希望する学科を第二志望まで申請することができ、大学入学共通テスト及び個別学力試験の合計成績の上位者優先で希望の学科に配属されます。配点は、本要項を参照してください。

＜学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）＞

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、職業教育で得た経験を生かして、優れたリーダーシップを発揮できる能力を重視して選抜します。そのために、小論文により志望する学科で学ぶために必要な素養、課題に対する知的な好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、相手の意見に耳を傾け自分の考えを的確に伝える表現力及び大学で学ぶ上での適性を評価します。推薦書及び志望理由書を参考資料とし、独創的な取り組み、他者との協調性を評価する。調査書では、基礎学力、独創的な取り組み、他者との協調性を評価します。配点は、入学者選抜に関する要項を参照してください。

＜学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）＞

応用生命化学科、食農生命科学科、生物圏環境学科では、主として、自然や生命に強い興味を持ち、それを探求する意欲、農学に関わる高い倫理観と使命感、コミュニケーション能力を重視して選抜します。そのために、大学入学共通テストでは農学の学理の理解に必要な基礎学力が修得できていること、小論文試験、面接試験及び調査書では、課題に対する知的な好奇心、科学的な思考力、科学的な根拠に基づいた適切な判断力、相手の意見に耳を傾け自分の考えを的確に伝える表現力及び大学で学ぶ上での適性を評価します。前述の能力に加えて、面接及び調査書では独創的な取り組みや他者との協調性も評価します。このように、高等学校入学後の学びから出願に至るまでの期間に獲得した学業並びに学業以外の諸成果を多面的かつ総合的に評価し入学者を選抜します。

共同獣医学科では、大学入学共通テストにより「獣医学の学理の理解に必要な基礎学力と論理的思考力」を評価します。面接及び調査書により「考えを伝える表現力、獣医学への理解度及び意欲」と獣医学を学ぶ上での適性などを評価します。

◎ 社会システム経営学環

＜教育理念・目標＞

社会システム経営学環では、豊かな教養と健全な心を養います。同時に専門知識とマネジメント力、デザイン思考による課題解決力を育みます。これらにより、人間性豊かで地域社会で活躍する人材の育成を目指します。

＜求める学生像＞

社会システム経営学環では、民間企業、自治体、NPOなどの運営に深い関心を持つ学生を求めています。このためには、次のような人を求めます。

1. 国内外の社会全般に高い関心を持ち基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み論理的な思考ができる人
3. 相手の意見を聴き自分の考えを伝えて協働することができる人
4. 積極的に行動することをいとわず多くの経験を積むことを楽しむ人
5. 知的な好奇心にあふれ自ら地域の課題を理解し、解決策を探究しようとする人

＜学力の3要素について＞

〔知識・技能〕

国内外の社会全般に高い関心を持ち基礎的学力を十分に備えている人

〔思考力・判断力〕

理解力に富み論理的な思考ができる人

〔表現力〕

相手の意見を聴き自分の考えを伝えて協働することができる人

〔主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〕

積極的に行動することをいとわず多くの経験を積むことを楽しむ人

〔その他の要素〕

知的な好奇心にあふれ自ら地域の課題を理解し、解決策を探究しようとする人

選抜方法及び入試区分		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
共通テスト	一般（前期）、推薦Ⅱ	○	○	○		
英語または数学	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（前期）、推薦Ⅱ		○	○		○
面接	推薦Ⅱ		○	○	○	○
調査書	推薦Ⅱ				○	○

入学者選抜の基本方針

＜前期日程試験＞

大学入学共通テストを課し、高等学校における基礎的学力が修得できていることを評価します。個別学力試験では数学または英語（どちらかを選択）を課し、応用的学力が修得できていることを評価します。また小論文試験を課し、課題発見、論理的思考力、自分の考えを伝える力を評価します。

＜学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）＞

大学入学共通テストを課し、高等学校における基礎的学力が修得できていることを評価します。また小論文試験を課し、課題発見、論理的思考力、自分の考えを伝える力を総合的に評価します。さらに面接試験を課し、コミュニケーション能力（傾聴力、伝達力、協働力）が備わっていることを評価します。調査書の提出を求め、高等学校までの学習過程で養成された学力の三要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）の評価を実施する判断材料とします。

Ⅱ 募 集 人 員

学部・学科等名			入学定員	募 集 人 員						
				一 般 選 抜		学 校 推 薦 型 選 抜		社会人 選 抜	帰国生 選 抜	
				前期日程	後期日程	推 薦 I	推 薦 II			
教 育 学 部	学校 教育 教員 養成 課程	国 語 教 育	20人	16人	人	人	4人	人	人	
		社 会 科 教 育	32	22			10			
		数 学 教 育	20	16			4			
		※1 理 科 教 育	32	23			9			
		音 楽 教 育	10	8			2			
		美 術 教 育	10	6			4			
		保 健 体 育	15	13			2			
		技 術 教 育	10	8			2			
		家 政 教 育	10	6			4			
		英 語 教 育	21	17			4			
		学校 教育	教育心理コース	10	7			3		
			学 校 教 育 実 践 コース	15	10			5		
		特 別 支 援 教 育	15	13			2			
	計		220	165			55			
地 域 科 学 部	地 域 政 策 学 科		(50)	60	21	6	10	2	1	
	地 域 文 化 学 科		(50)							
	計 ※2		100	60	21	6	10	2	1	
医 学 部	医 学 科		※3 110	55			※3 55			
	看 護 学 科		80	42	20	15		3		
	計		190	97	20	15	55	3		
工 学 部	社会基盤 工学科	環 境 ・ 防 災 デザインコース	60	24	24	2	ア) 10 イ) 2			
		機 械 工学科	130	35	35		ア) 8 イ) 1			
	知能機械コース	22		21	ア) 5 イ) 1					
	化学・生命 工学科	物質化学コース	150	36	35		ア) 12 イ) 2			
		生命化学コース		30	27		ア) 6 イ) 2			
	電気電子・情報 工学科	電気電子コース	190	33	34		ア) 6 イ) 2			
		情報コース		44	33		ア) 11 イ) 2			
		応用物理コース		10	10		ア) 4 イ) 1			
計		530	234	219	2	※4 75				
応 用 生 物 科 学 部	応 用 生 命 化 学 科		55	35	10	2	8			
	食 農 生 命 科 学 科		55	35	9	3	8			
	生 物 圏 環 境 学 科		50	33	6	3	8			
	共 同 獣 医 学 科		30	26			4			
	計		190	129	25	8	28			
社会システム経営学環			30	15			※5 15			
合 計			1,260	700	285	31	238	5	1	

(注)・ この表中、推薦Ⅰは大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ、推薦Ⅱは大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱを示します。

【教育学部】

- ※1 a 教育学部の理科教育講座には、次の専攻があります。
理科教育講座：「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻
b 教育学部の一般選抜における上記aの理科教育講座の合格者については、専攻を区別せず講座単位で合格者を発表します。所属専攻は、本人の志望と1年次の成績を考慮し、2年次前学期に入るときに各専攻に割り振ります。
c 教育学部の学校推薦型選抜Ⅱでは、理科教育講座については物理学専攻、化学専攻、生物学専攻は各2人、地学専攻では3人を募集します。

【地域科学部】

- ※2 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。
所属学科は2年次に決定します。

【医学部】

- ※3 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱの募集人員55人には、地域枠推薦28人を含みます。(40ページ参照)
なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請予定の人数であり、変更があり得ます。

【工学部】

- a 工学部の一般選抜では、入学定員を学科ごとに定めていますが、募集はコースごとに行います。
b 一般選抜に出願する際に、志望することのできる学科は1つのみであり、その学科の中で複数コースを選択することが可能です。
※4 工学部の学校推薦型選抜Ⅱの募集人員は、「選抜の対象」により異なります。
選抜の対象 ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者
イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者
詳細は、43ページで確認してください。

【社会システム経営学環】

- ※5 社会システム経営学環の学校推薦型選抜Ⅱの募集人員15人には、「商業・工業・農業等の実業に関する学科」2人を含みます。
詳細は、46ページで確認してください。

- ・ 次の入試で欠員が生じた場合は、それぞれ指定の入試でその欠員を補充します。
 - a 教育学部の学校推薦型選抜Ⅱの欠員→同学部の前期日程で補充
 - b 地域科学部の学校推薦型選抜Ⅰ及びⅡ並びに社会人及び帰国生選抜の欠員→同学部の前期日程で補充
社会人選抜で欠員が生じた場合は、学校推薦型選抜Ⅰで補充する場合がある。
 - c 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠推薦を除く）の欠員→同学科の前期日程で補充
 - d 医学部看護学科の学校推薦型選抜Ⅰ及び社会人選抜の欠員→同学科の前期日程で補充
 - e 工学部の学校推薦型選抜Ⅰの欠員→同学部の前期日程で補充
 - f 工学部の学校推薦型選抜Ⅱの欠員→同学部の各コース別に前期日程で補充
 - g 応用生物科学部の学校推薦型選抜Ⅰ及びⅡの欠員→同学部の学科別に前期日程で補充
 - h 社会システム経営学環の学校推薦型選抜Ⅱの欠員→同学環の前期日程で補充
- ・ この表のほか、私費外国人留学生選抜を実施します。(ただし、医学部看護学科、応用生物科学部共同獣医学科及び社会システム経営学環を除く。50～51ページを参照)

(留意事項)

国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)に出願することができるのは、1つの同じ大学・学部に限られています。なお、1つの同じ大学・学部の学校推薦型選抜ⅠとⅡの併願は可能です。(どちらも出願要件を満たしている場合。)また、本学の「学校推薦型選抜」と、他の国公立大学の「総合型選抜」との併願は認めていません。(ただし、他の国公立大学の「総合型選抜」を不合格となった者の出願は認めます。)

Ⅲ 出願期間・試験実施日等

1. 一般選抜

実施学部等		インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類 受付期間	試験実施日	合格発表日時	入学手続期限
一般選抜 (前期日程)	教育学部	1月25日(月) ～2月3日(水) 13時まで	1月25日(月) ～2月3日(水) *最終日消印有効	2月25日(木) 及び26日(金)	3月6日(土) 10時	3月15日(月) 16時まで
	地域科学部			2月25日(木)		
	医学部 医学科			2月25日(木) 及び26日(金)		
	看護学科					
	工学部			2月25日(木)		
	応用生物科学部 社会システム経営学環					
一般選抜 (後期日程)	地域科学部			3月12日(金)	3月21日(日祝) 10時	3月27日(土) 16時まで
	医学部 看護学科					
	工学部					
	応用生物科学部					

2. 学校推薦型選抜Ⅱ

実施学部等			インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類 受付期間	試験実施日	合格発表日時	入学手続期限
学校推薦型 選抜試験Ⅱ	教育学部		12月15日（火） ～18日（金） 13時まで	12月15日（火） ～18日（金） ※最終日消印有効	1月31日（日）	2月8日（月） 10時	2月17日（水） 16時まで
	地域科学部				1月30日（土）		
	医学部	医学科	1月19日（火） ～22日（金） 13時まで	1月19日（火） ～22日（金） ※最終日消印有効	1月28日（木）・29日（金）		
	工学部				1月30日（土）		
	応用生物科学部		12月15日（火） ～18日（金） 13時まで	12月15日（火） ～18日（金） ※最終日消印有効	1月30日（土）・31日（日）		
	社会システム経営学環						

3. 学校推薦型選抜Ⅰ，社会人選抜，帰国生選抜（大学入学共通テストを課さない選抜）

実施学部等		インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類 受付期間	試験実施日	合格発表日時	入学手続期限
学校推薦型 選抜試験Ⅰ	地域科学部	11月1日(日) ～6日(金) 13時まで	11月1日(日) ～6日(金) *最終日消印有効	11月14日(土)	12月1日(火) 10時	2月17日(水) 16時まで
	医学部 看護学科					
	工学部			11月16日(月)・17日(火) *17日は面接予備日		
	応用生物科学部					
社会人選抜	地域科学部	10月1日(木) ～7日(水) 13時まで	10月1日(木) ～7日(水) *最終日消印有効	11月14日(土)		
	医学部 看護学科	11月1日(日) ～6日(金) 13時まで	11月1日(日) ～6日(金) *最終日消印有効			
帰国生選抜	地域科学部	10月1日(木) ～7日(水) 13時まで	10月1日(木) ～7日(水) *最終日消印有効	11月14日(土)		

4. 私費外国人留学生選抜

実施学部等			インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類 受付期間	試験実施日	合格発表日時	入学手続期限	
私費外国人 留学生選抜	教育学部		12月11日（金） ～22日（火） 13時まで	12月18日（金） ～22日（火） ※最終日消印有効	1月22日（金）	2月8日（月） 10時	2月17日（水） 16時まで	
	地域科学部				1月30日（土）			
	医学部	医学科			1月28日（木）			
	工学部		12月31日（木） ～1月7日（木） 13時まで	1月4日（月） ～7日（木） ※最終日消印有効	個別学力検査は課さない			
	応用生物科学部 （共同獣医学科除く）							

出願書類の提出は郵送に限ります。インターネット出願サイト登録及び検定料支払い後に、書類を印刷し、出願書類一式を郵送してください。
出願期間内に、出願書類を提出しない場合や、出願書類に不備がある場合は、出願は無効となります。
*郵送事情を考慮し、出願書類を提出期間内に間に合うように郵送してください。ただし、期限後に本学に到着したものについては、最終日までの発信局（日本国内）消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。

Ⅳ 出 願 資 格

1. 一般選抜

本学に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する令和 9 年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 9 年 3 月までにこれに該当する見込みの者

(注)

上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。

ア 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者（令和 9 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）

又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部省告示第 153 号）

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和 9 年 3 月までに修了見込みの者を含む。）

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 137 号）

エ 文部科学大臣の指定した者〔昭和 23 年文部省告示第 47 号（大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定）〕

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（令和 9 年 3 月までに合格見込みの者を含む。）で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

カ 大学入学資格検定に合格した者

キ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(備考)

○ 本学では、大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しません。

○ 上記の「ク」については、「☒ 岐阜大学入学資格審査」を参照してください。

○ 障害等のある志願者で、事前の相談を希望する方は、「☒ 障害等のある者の出願にあたっての事前相談」を参照してください。

2. 学校推薦型選抜・社会人選抜・帰国生選抜・私費外国人留学生選抜

37～51 ページを参照してください。

V 岐阜大学入学資格審査

Ⅳ 出願資格 1. (3) (注) ク (学校教育法施行規則第 150 条第 7 号) により大学入学共通テスト又は岐阜大学へ出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。

1. 申請期間及び申請書類の送付先等

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、大学入学共通テスト又は社会人選抜の出願期間初日の 10 日前までに申請するものとします。

なお、本学の一般選抜に出願する者で本学の入学資格審査を受けていない者は、大学入学共通テストを受験した者に限り、一般選抜出願期間初日の 3 日前までに申請することができるものとします。

申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書きしてください。

申請先 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学学務部入試課 あて

2. 入学資格審査の対象者

ア 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

イ ア以外の者であっても、各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が、高等学校を卒業した者の学力と同等以上であると認められる者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

3. 申請手続

次の書類を添え、申請してください。

(1) 共通の書類

- ① 入学資格認定書交付申請書（本学所定の用紙）
- ② 返信用封筒（申請者の宛先を明記し、速達簡易書留による切手を貼付してください。）

(2) 前項のアに該当する者

- ① 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書
- ② 高等学校に対応する学校の課程に在学している者は、当該学校の学則（修業年限、授業科目、標準単位数、週当たり授業時数及び年間授業週数が明示されたもの）
- ③ 教科・科目の履修状況（調査書に準じたもの）

(3) 前項のイに該当する者

- ① 学習等の履歴書
- ② 各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が客観的に確認できる書類

4. 本学所定の用紙の請求方法

入学資格認定書交付申請書の用紙を請求する場合は、返信用封筒として「長形 3 号封筒（縦 23.5cm×横 12.0cm）」にあなたの受信住所、郵便番号、氏名を記入の上、110 円切手を貼付し、これを折りたたんでも構いませんので、定形内の封筒に入れ、表に「入学資格認定書交付申請書請求」と朱書きし、岐阜大学学務部入試課へ申し込んでください。

5. 審査方法等

審査請求があったときは申請書類により速やかに審査を開始します。

6. 審査基準

- ① 当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに習得させる単位数と同等以上であることが必要です。

- ② 申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

7. 資格審査の結果

資格審査の結果は、速やかに申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた者については、「岐阜大学入学資格認定書」を同封します。

8. 大学入学共通テスト及び岐阜大学入学者選抜試験の受験

「岐阜大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、大学入学共通テスト及び本学の入学者選抜試験に出願し受験することができます。

出願の際は、必ず岐阜大学入学資格認定書の写を添付してください。

Ⅵ 障害等のある者の出願にあたっての事前相談

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることがないように必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはありません。

また、入学後の修学に関して相談を希望する方は、志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

1. 相談の期限

一般選抜志願者：願書受付開始日の4日前まで

学校推薦型選抜Ⅱ志願者：願書受付開始日の2週間前まで

学校推薦型選抜Ⅰ，社会人選抜，帰国生選抜，私費外国人留学生選抜志願者
：当該入試の願書受付開始日の1か月前まで

注：日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定や他の配慮との関係から受験上の配慮として申請が必要です。なお，点字による入試が必要な場合は9月末までに相談してください。

2. 相談の方法

①本学所定の用紙「障害者等受験上の配慮申請書」及び②大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写し・該当者のみ）に③医師の診断書及び障害者手帳（写し・該当者のみ）を添付し，志望する学部の学務係に提出してください。（所在地，電話番号等は裏表紙参照）

なお，必要な場合には，志願者又は関係者との面談等を行うことがあります。

3. 本学所定の用紙の請求方法

用紙は，岐阜大学のホームページからダウンロードすることができます。

郵便で用紙を請求する場合は，封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし，110円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm））を同封し，以下の＜請求先＞に送付してください。

※同封の返信用封筒には，あなたの住所，郵便番号，氏名（宛名）を明記してください。返信用封筒は折りたたんで構いません。

＜請求先＞

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学学務部入試課〔電話 058-293-2156, 2157〕又は，各学部の学務係
（所在地，電話番号等は裏表紙参照）

4. 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は，至急志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

Ⅶ 入学者選抜方法等

一般（前期・後期）

1. 一般選抜の入学者選抜方法等

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書により、総合的に判定します。

学部・学科等名				選抜方法等	個別学力検査等								個別学力検査等の日程
					個別学力検査を課す	実技検査等				2 段 階 選 抜			
						実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	ニ外国語 ング語 テスト における リス を課す	大学入学 共通 テスト により第 1段階 選抜を行 い、その 合格者 に必要 な検査 を行う	第1段階の選抜 による合格者数		
											対する募集 人員に倍 率	その他	
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育 特別支援教育	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	2月25日 （面接及び 実技検査 2月26日）	
		音楽教育 美術教育 保健体育		×	○	○	×	×	×	×	×		×
地 域 科 学 部	地 域 政 策 学 科 地 域 文 化 学 科		前期日程	○	×	×	○	×	×	×	×	2月25日	
			後期日程	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日	
医 学 部	医 学 科		前期日程	○	×	○	×	×	○	約3倍	×	2月25日 （面接 2月26日）	
			前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
	看 護 学 科		後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	3月12日	

一般（前期・後期）

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書により、総合的に判定します。

学部・学科等名			選抜方法等	個別学力検査等							個別学力検査等の日程	
				個別学力検査を課す	実技検査等				2 段 階 選 抜			
					実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語テストにおけるリスニングテストを課す	大学入学共通テストの第1段階選抜を行い、その合格者について必要となる検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数		
										対する募集人員に倍率		その他
工 学 部	社会基盤工学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
	機械工学科	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
応用生物科学部	化学・生命工学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
	電気電子・情報工学科	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
	応用生命化学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
	食農生命科学科	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
共同獣医学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
社会システム経営学環			前期日程	○	×	×	○	×	×	×	2月25日	

【全学部共通事項】

- ・当初合格者で入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、追加合格を行うことがあります。
- ・追加合格を行っても、なお入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

◎ 出願期間及び合格者発表日 （9 ページ参照）

- ・出願期間（前期・後期日程） 1月25日（月）～ 2月3日（水）
- ・合格者発表日（前期日程） 3月6日（土）
- ・合格者発表日（後期日程） 3月21日（日）

2. 学校推薦型選抜及び帰国生・社会人選抜の入学者選抜方法等

学部・学科等名			選抜方法等		学校推薦型選抜							帰国生・社会人選抜		備 考		
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する		学校推薦型選抜募集人員							帰国生 社 会 人				
実 技 検 査 等		入学共通テストを課す	個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを免除する	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	その他								
教育学部	学校教育教員養成課程	国語教育	○	×	×	○※1	×	×	×	4人	×	×	(学校推薦型選抜Ⅱ) 補足事項 [音楽] 音楽歴調書を面接の参考資料に使用 [美術] 持参する作品(5点以内)を用いて判定 [保健体育] 運動歴調書を用いて判定			
社会科教育	10人															
数学教育	4人															
理科教育(物理学)	2人															
理科教育(化学)	2人															
理科教育(生物学)	2人															
理科教育(地学)	3人															
音楽教育	2人															
美術教育	4人															
保健体育	2人															
技術教育	2人															
家政教育	4人															
英語教育	4人															
学校教育(教育心理コース)	3人															
学校教育(学校教育実践コース)	5人															
特別支援教育	2人															
地域科学部	地域政策学科 地域文化学科 ※2		×	○	×	○	○	×	×	6人	○	○	(学校推薦型選抜Ⅰ)			
			○	×	×	○	×	×	×	10人			(学校推薦型選抜Ⅱ)			
医学部	医 学 科		○	×	×	○	○	×	×	※3 55人	×	×	(学校推薦型選抜Ⅱ)			
	看 護 学 科		×	○	×	○	○	×	×	15人	×	○	(学校推薦型選抜Ⅰ)			
工学部 ※4	機械工学科	機 械 コ ー ス	○	×	×	○	×	×	×	2人	×	×	(学校推薦型選抜Ⅰ)			
		知能機械コース														
	社会基盤工学科	環 境 ・ 防 災 デザインコース												10人	2人	(学校推薦型選抜Ⅱ)
		機械工学科												機 械 コ ー ス	8人	
	知能機械コース													5人	1人	
	化学・生命工学科	物質化学コース												12人	2人	
生命化学コース		6人	2人													

学部・学科等名			選抜方法等		学校推薦型選抜							帰国生・社会人選抜		備 考
					入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							学校推薦型選抜募集人員	帰国生	
			個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課す	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	実 技 検 査 等					その他				
					実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す						
工学部	電気電子・情報工学科	電気電子コース								6人・2人	×	×	(学校推薦型選抜Ⅱ)	
※4		情 報 コ ー ス	○	×	×	○	×	×	×	11人・2人				
		応用物理コース								4人・1人				
応用生物科学部	応 用 生 命 化 学 科									2人	×	×	(学校推薦型選抜Ⅰ)	
	食 農 生 命 科 学 科	×	○	×	○	○	×	×	3人					
	生 物 圏 環 境 学 科								3人					
	応 用 生 命 化 学 科								8人	(学校推薦型選抜Ⅱ)				
	食 農 生 命 科 学 科	○	×	×	○	○	×	×	8人					
	生 物 圏 環 境 学 科								8人					
	共 同 獣 医 学 科※5	○	×	×	○	×	×	×	4人					
社会システム経営学環			○	×	×	○	○	×	×	※6 15人	×	×	(学校推薦型選抜Ⅱ)	

- ※1 教育学部の個人面接は、一部の講座等において口述試験を含み、英語教育講座は英語面接を含み、音楽教育講座は実技試験を含みます。(37 ページ参照)
- ※2 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。
- ※3 医学部医学科の学校推薦型選抜の募集人員 55 人には、地域枠推薦 28 人を含みます。(40 ページ参照)
なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請予定の人数であり、変更があり得ます。
- ※4 工学部の学校推薦型選抜Ⅰの面接は、プレゼンテーションと質疑応答です。また、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員は、「選抜の対象」により異なります。ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込み又は卒業後 1 年以内の者 イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後 1 年以内の者 (43 ページ参照)
- ※5 応用生物科学部共同獣医科の志願者数が募集人員の 9 倍を超えた場合には、個別学力試験を適切に実施するため、調査書の「全体の学習成績の状況」により第 1 段階選抜を行います。
- ※6 社会システム経営学環の学校推薦型選抜Ⅱの募集人員 15 人には、「商業・工業・農業等の実業に関する学科」2 人を含みます。(46 ページ参照)
- ・ この表のほか、私費外国人留学生選抜を実施します。(ただし、医学部看護学科、応用生物科学部共同獣医学科及び社会システム経営学環を除く。50～51 ページを参照)

(留意事項)

国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)に出願することができるのは、1つの同じ大学・学部に限られています。なお、1つの同じ大学・学部の学校推薦型選抜ⅠとⅡの併願は可能です。(どちらも出願要件を満たしている場合。)また、本学の「学校推薦型選抜」と、他の国公立大学の「総合型選抜」との併願は認めていません。(ただし、他の国公立大学の「総合型選抜」を不合格となった者の出願は認めます。)

3. 各選抜の実施教科・科目及び配点等

[illegible]

学部・学科等		大学入学共通テストの 利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																
学部	学科等	学歴 区分	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	実技	小論文・ 論文等	総合 問題	面接	配点 合計	備考		
		後期 推Ⅰ	募集しない 募集しない																				
国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 音楽教育 美術教育 保健体育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育 特別支援教育		推Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 「物基／化基／生基／地基」(注3、 物、化、生、地 1又は2 (注1 (注4 英 情Ⅰ (注1「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1 及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 (注2「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを 選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は、選択した2出題範囲の 内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注3 基礎は2出題範囲で1となります。 (注4「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択する ことはできない。 ・物基／化基／生基／地基」を選択した者は、基礎において 選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (6教科8科目、7教科8科目)	その他	集団面接 個人面接		共通テスト	50	25	50	25	50	25					集団 個人 50 150	250 200			
音楽教育								共通テスト	50	25	50	25	50	25					集団 個人 50 150	250 200			
美術教育																							
保健体育																							
総計																							

学部・学科等		大学入学共通テストの 利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等															
学 部	学 科 等	学 部	学 科 等	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	実技	小論文 総合 問題 等	面接	配点 合計	備考	
地域科学部 地域政策学科 地域文化学科 ※学部単位で入試 を実施	前期	国	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公・倫」、「公・政・経」、 「地総／歴総／公」 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 「物基／化基／生基／地基」(注3、 物、化、生、地 1又は2 (注1 (注4 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ (注1 「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1 及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 (注2 「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを 選択することはできない。 ・「公・倫」と「公・政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は、選択した2出題範囲の 内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注3 基礎は2出題範囲で1となります。 (注4 「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択する ことはできない。 ・「物基／化基／生基／地基」を選択した者は、基礎において 選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (6教科8科目、7教科8科目)	数 外 英 その他	1 小論文		共通テスト	100	100	100	50	100	25							475	*印 から 1つ 選択	
		地歴 公民	その他	個別学力検査等	50	50	100	100	100				200		400							
		後期	数 理 外 情	その他	小論文		共通テスト	100	100	100	50	100	25									475
		推Ⅰ	課さない	その他	小論文 面接		共通テスト	個別学力検査等												200	400	
		推Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外 情	その他	面接		共通テスト	個別学力検査等												200	200	
																				400		
																				475		
																				200	200	
																				675		

学部・学科等		大学入学共通テストの 利用教科・科目名等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
学部	学科等	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報 調査書	実技 等	小論文 総合 問題 等	面接	配点 合計				
医学部	医学科	前期	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化、生 2 英 情Ⅰ 〔6教科8科目〕	数 理 外 その他	数Ⅰ 「物基、 物」、「化基、化」、「生基、生」から2 英 面接	前期 日程 募集 人員 の約 3倍	共通テスト	200	100	200	200	200	50				950				
						個別学力検査等			400	400	400					(注9)	1200				
						(注9) 面接は、総合判定の資料（配点なし）とし、医学部医学科のアドミSSION・ポリシーに適合 しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とします。										総計 2150					
		後期 推Ⅰ 募集しない																			
		推Ⅱ	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化、生 2 英 情Ⅰ 〔6教科8科目〕	その他	小論文 面接		【一般推薦】 共通テスト	50	50	200	200	200	50				750				
							個別学力検査等								560	840	1400				
							【地域枠推薦】 共通テスト	50	50	200	200	200	50			総計 2150					
							共通テスト										750				
							個別学力検査等								280	420	700				
																総計 1450					
看護学科		前期	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 「物基／化基／生基」(注3、 物、化、生 1又は2 (注1 (注4 英 情Ⅰ (注1「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1 及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 (注2「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを 選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は、選択した2出題範囲の 内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注3 出題科目「物基／化基／生基／地基」のうち出題範囲「物基」、 「化基」、「生基」から、いずれか2つを選択 基礎は2出題範囲で1となります。 (注4 理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択する ことはできない。 ・「物基／化基／生基」を選択した者は、基礎において 選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (6教科8科目、7教科8科目)	国 数 外	出題範囲：現代の国語、「言語文化」 数Ⅰ 英 (注5 外必須、国、数から1	2 (注5	共通テスト	100	100	50	100	100	50			500					
						個別学力検査等									200	100	300				
																	総計 800				
		後期		その他	小論文 面接		共通テスト	100	100	50	100	100	50				500				
							個別学力検査等								200	100	300				
																総計 800					
		推Ⅰ	課さない	その他	小論文 調査書 面接		共通テスト														
							個別学力検査等						100	200	100	400					
		推Ⅱ	募集しない													総計 400					

学部・学科等			大学入学共通テストの 利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等															
学部	学科等	学修 単位区分	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	公民	地歴	数学	理科	外国語	情報	調査書	実技	小論文 等	総合 問題	面接	配点 合計	備考	
工学部	社会基盤工学科 機械工学科 機械コース 知能機械コース 電気電子・情報工学科 電気電子コース 情報コース 応用物理コース 化学・生命工学科 物質化学コース 情報コース 生命化学コース	前期	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、偏」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1) 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化、生 2 英 1 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。)	数 理 外	数 理 外 英		共通テスト 個別学力検査等	100 50	100 100	100 100	100 100	100 100	100 50								500 1000 1500 総計 1500	
			数 理 外 情			数 理 外	数 理 外 英		共通テスト 個別学力検査等	100 50	100 100	100 100	100 50	100 100	100 50							500 1000 1500 総計 1500	
			数 理 外			数 理 外	数 理 外 英		共通テスト 個別学力検査等	100 50	100 100	100 100	100 50	100 100	100 50							500 1500 2000 総計 2000	
		後期	課さない		その他	調査書 面接 (プレゼンテーションと質疑応答)		共通テスト 個別学力検査等									100					400 500	
			推Ⅰ				その他	面接		共通テスト 個別学力検査等	200 100	100 100	200 200	200 100	200 100	200 100							500 1000 200 1200 総計 1200
社会基盤工学科		推Ⅱ	国 地歴 公民	【普通科・理数に関する学科】 国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、偏」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1) 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物 (必須)、化、生、地 1 英 1 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。)	その他	面接		共通テスト 個別学力検査等	* (50)	* (50)	200 100	200 100	200 100	200 100							500 1000 200 1200 総計 1200	*印 から 1つ	
			数 理 外 情																				500 400 900 総計 900

学部・学科等		大学入学共通テストの 利用教科・科目名等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
学部	学科等	学歴 等の区分	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報 調査書	実技	小論文 総合 問題	面接	配点 合計	備考
工学部	機械工学科 機械コース 知能機械コース 電気電子・情報工学科 電気電子コース 情報コース 応用物理コース	推Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外 情Ⅰ	【普通科・理数に関する学科】 国「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1) 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕	その他	面接		共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100				1000 200 1200	
			国 地歴 公民 数 理 外 情Ⅰ	【工業に関する学科】 国「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1) 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 〔5教科6科目〕				共通テスト 個別学力検査等	* (50)	* (50)	200	100	50	100			500 400 900	*印 から 1つ	
			国 地歴 公民 数 理 外 情Ⅰ	【普通科・理数に関する学科】 国「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1) 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 化(必須)、物、生 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕				共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100			1000 200 1200		
	化学・生命工学科 物質化学コース 生命化学コース		国 地歴 公民 数 理 外 情Ⅰ	【工業に関する学科】 国「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1) 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 〔5教科6科目〕				共通テスト 個別学力検査等	* (50)	* (50)	200	100	50	100			500 400 900	*印 から 1つ	

学部・学科等	大学入学共通テストの 利用教科・科目名等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
	学部	学科等	学修 段階	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	実技	小論文・総合 問題等	面接	配点 合計	備考
応用生物科学部 「応用化学学科 生命科学学科 食農生命科学学科 生物圏環境学科	前期	国 地歴 公民	前期	国 地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、 「公、政・経」、 「地総/歴総/公」 (注1) 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 物、化、生、地 2 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 [6教科8科目])	数 理	数Ⅰ、数ロから1 「物基、物」、 「化基、化」、 「生基、生」 から1	共通テスト 個別学力検査等	共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	250	50					1000	
	後期	国 地歴 公民	後期	国 地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、 「公、政・経」、 「地総/歴総/公」 (注1) 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 物、化、生、地 2 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 [6教科8科目])	数 理	数Ⅰ、数ロから1 「物基、物」、 「化基、化」、 「生基、生」 から1	共通テスト 個別学力検査等	共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	250	50					1000	
共同獣医学部	前期	国 地歴 公民	前期	国 地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、 「公、政・経」、 「地総/歴総/公」 (注1) 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 物、化、生、地 2 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 [6教科8科目])	数 理	数Ⅰ、数ロから1 「物基、物」、 「化基、化」、 「生基、生」 から1	共通テスト 個別学力検査等	共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	50					950	
	後期	国 地歴 公民	後期	国 地歴 公民	「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、 「公、政・経」、 「地総/歴総/公」 (注1) 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 物、化、生、地 2 英 情Ⅰ (注1 2出題範囲で1となります。 [6教科8科目])	数 理	数Ⅰ、数ロから1 「物基、物」、 「化基、化」、 「生基、生」 から1	共通テスト 個別学力検査等	共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	50					950	

学部・学科等		大学入学共通テストの 利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
学部	学科等	教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報 調査書	実技	小論文 総合 問題	面接	配点 合計	備考	
社会システム経営学環	前期	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 「物基／化基／生基／地基」(注3、 物、化、生、地 1又は2 (注1 (注4 英 情Ⅰ (注1「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1 及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 (注2「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを 選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は、選択した2出題範囲の 内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注3 基礎は2出題範囲で1となります。 (注4「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択する ことはできない。 ・「物基／化基／生基／地基」を選択した者は、基礎において 選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (6教科8科目、7教科8科目)	数 外 その他	数Ⅰ 英 小論文 1		共通テスト 個別学力検査等	100 50	100 50	100 100 *	50 100 (200)	100 50 *	50 (200)				500 400 200 総計 900	500 400 200 総計 900	
	後期 推Ⅱ	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 「物基／化基／生基／地基」(注3、 物、化、生、地 1又は2 (注1 (注4 英 情Ⅰ (注1「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1 及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 (注2「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを 選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は、選択した2出題範囲の 内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注3 基礎は2出題範囲で1となります。 (注4「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択する ことはできない。 ・「物基／化基／生基／地基」を選択した者は、基礎において 選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (6教科8科目、7教科8科目)	その他	小論文 面接		共通テスト 個別学力検査等	100 50	100 50	100 100	50 100	100 50				500 400 200 総計 900	500 400 200 総計 900		
		【商業・工業・農業等の実業に関する学科】 国 (注1 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 (注1 (注2 (注3 「教Ⅰ、教A」と「教Ⅱ、教B、教C」の2 「物基／化基／生基／地基」(注4 物、化、生、地 (注1 (注5 英 情Ⅰ (注1「国語」、「地歴、公民」、「理科」から2科目選択する。	その他	小論文 面接		共通テスト 個別学力検査等	50 50	50 50	100 50 100	50 50 100	50 100	100 50					350 200 400 総計 750	350 200 400 総計 750	

学部・学科等		学履査 等の区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名等		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
学部	学科等		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	実技	小論文 等	総合 問題	面接	配点 合計	備考
社会システム経営学環		推Ⅱ																			
				(注2 「地総/歴総/公」は2出題範囲で1となります。 (注3 「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総/歴総/公」を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注4 基礎は2出題範囲で1となります。 (注5 「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物基/化基/生基/地基」を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (4教科6科目、5教科6科目、6教科6科目)																	

※ 注意事項

1. 学力検査等の区分は次のとおり略記しています。
前期（一般選抜（前期日程）、後期（一般選抜（後期日程））、推Ⅰ（学校推薦型選抜Ⅰ）、推Ⅱ（学校推薦型選抜Ⅱ）
2. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等に共通する事項
1) 教科名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地歴（地理歴史）、数（数学）、理（理科）、外（外国語）、情（情報）
- 2) 科目名は次のとおり略記しています。
国（国語）、地総（地歴・地理）、地探（地理総合、地理探究Ⅰ）、「歴総、日探」（歴史総合、日本史探究Ⅰ）、「歴総、世探」（歴史総合、世界史探究Ⅰ）、「地総/歴総/公」（地理総合/歴史総合/公共Ⅰ）、「公、倫」（公共・倫理Ⅰ）「公、政経」（公共・政治・経済Ⅰ）、「数Ⅰ、数A」（数学Ⅰ、数学A）、数Ⅱ、数B、数C（数学Ⅱ、数学B、数学C）、数Ⅲ（数学Ⅲ）、数A（数学A）、数B（数学B）、数C（数学C）、物基/化基/生基/地基（物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、地（地学）、物基、物（物理基礎、物理Ⅰ）、「化基、化」（化学基礎、化学Ⅰ）、「化基、生」（生物基礎、生物Ⅰ）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）

- 情Ⅰ（情報Ⅰ）
- 3) 教科は「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「数学」、「理科」、「外国語」、「情報」をそれぞれ1教科とします。
3. 個別学力検査の出題範囲に関する事項
1) 数学の科目・出題範囲は次のとおり略記しています。
数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの範囲：全範囲
数Bの範囲：「数列」「統計」「統計的な推測」
数Cの範囲：「ベクトル」
- 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの範囲：全範囲
数Bの範囲：「数列」「統計的な推測」
数Cの範囲：「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」

- 2) 外国語の科目・出題範囲は次のとおり略記しています。

- 英…英語範囲：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ

4. 大学入学共通テストの「外国語」に関する事項

- 1) 大学入学共通テストの「外国語」における「英語」は、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）ですが、本学は「外国語（英語）」の配点をリーディング 150点満点、リスニング 50点満点に換算します。リーディングとリスニングの換算後の合計得点を各学部等が定める配点に応じてさらに換算します。また、地域科学部については、「英語」以外の外国語は筆記試験（200点満点）の得点を学部が定める配点に換算します。
- 2) 「外国語」のうち、「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の双方が定める配点に換算します。配慮決定者については、リーディングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。
- 3) 「地理歴史、公民」、「理科」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。（なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合は、出願資格者となりすので、御注意ください。）
- 4) 教育学部、地域科学部、医学部看護学科及び社会システム経営学環（学校推薦型選抜Ⅱ「商業・工業・農業等の実業に関する学科」を除く）の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合、「地理歴史、公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
5. 医学部医学科の一般選抜（前期日程）2段階選抜に関する事項
医学部医学科は、前期日程試験において志願者数が募集人員の約3倍を超えた場合、個別学力試験を適切に実施するため、大学入学共通テストの成績（前期日程試験で用いる科目・配点に同じ、満点 950 点）により第1段階選抜を行います。
6. 応用生物科学部共同獣医学部の学校推薦型選抜Ⅱにおける2段階選抜に関する事項
応用生物科学部共同獣医学部の志願者数が募集人員の9 倍を超えた場合には、個別学力試験を適切に実施するため、調査書の「全体の学習成績の状況」により第1 段階選抜を行います。
7. 大学入学共通テスト・学校推薦型選抜Ⅱの配点等
工学部の志願者のうち、工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1 年以内の者で、複数の教科・科目を受験している場合は次のとおり採点します。
「国語」「地理歴史、公民」の場合
・「地理歴史、公民」において2 科目を受験している場合は、第1 解答科目の得点を採用します。
・「国語」と「地理歴史、公民」の両方を受験している場合は、「国語」と上記の第1 解答科目の得点を比較し、得点の高い方を採用します。

- ・2科目を受験している場合には、第1 解答科目の得点を採用しますので、学科が指定する科目を第1 解答科目で受験してください。
- 社会システム経営学環の志願者のうち、商業・工業・農業等の実業に関する学科の志願者で、「国語」「地理歴史、公民」及び「理科」から3 科目以上受験している場合は、「国語」は0.5 を乗じた得点に換算したうえで、それらの得点の高い順に2 つを採用する。

4. 大学入学共通テストの受験を要する教科等
(1) 一般選抜
ア 前期日程

大学入学共通テストの利用教科・科目名													
	国語	地歴、公民				数学		理科	外国語				情報
		地理歴史		公民		数学①	数学②		英語	ドイツ語	フランス語	中国語	
学部等	国語	地理総合 、	地歴総合 、	公民総合 、	政治・経 済、	数 学 Ⅰ 、	数 学 Ⅱ 、	地生化学 物理学 基礎基礎 ／／／	物 理	化 学	生 物	地 学	情 報 Ⅰ
	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
教育学部	1	理科が2の場合は1、理科が1の場合は2 (注1 『地理総合／歴史総合／公民』は、「歴史総合」、「歴史総合」及び「公民」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 (注2 地歴、公民から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・『公、倫』と『公、政・経』 ・『地理総合／歴史総合／公民』を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目。				1	1	地歴、公民が2の場合は1、地歴、公民が1の場合は2 (注1 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 (注2 理科から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目。				1	1
	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
地域科学部	1	理科が2の場合は1、理科が1の場合は2 (注1 『地理総合／歴史総合／公民』は、「歴史総合」、「歴史総合」及び「公民」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 (注2 地歴、公民から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・『公、倫』と『公、政・経』 ・『地理総合／歴史総合／公民』を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目。				1	1	地歴、公民が2の場合は1、地歴、公民が1の場合は2 (注1 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 (注2 理科から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目。				1	1
	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎

大学入学共通テストの利用教科・科目名

大学入学共通テストの利用教科・科目名																						
	国語	地歴、公民			数学		理科	外国語	情報													
		地理歴史	公民	数学①	数学②																	
医学部	学部等	国語	地歴総合， 世界史総合探究， 歴史総合， 公民総合， 地理総合， 政治・経済， 公共倫理	公民総合， 政治・経済， 公共倫理	数学Ⅰ， 数学Ⅱ， 数学Ⅲ	数学Ⅰ， 数学Ⅱ， 数学Ⅲ	地生化学 物理学基礎 生物学基礎 基礎基礎 ／／／	物理 化学 生物 地学	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	情報Ⅰ												
											◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	
											◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	
医学部	看護学科	1	理科が2の場合は1，理科が3の場合は2 （注1『地理総合／歴史総合／公民』は，「歴史総合」及び「公民」の3つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答する。 （注2 地歴、公民から2科目選択する場合は，次の組み合わせを選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地理総合／歴史総合／公民」を選択した者は，選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目。	1	1	1	地歴、公民が2の場合は1，地歴、公民が1の場合は2 （注1『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は，「物理基礎」，「化学基礎」及び「生物基礎」の3つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答する。 （注2 理科から3科目選択する場合は，次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を選択した者は，基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目。	1	1	◎												
											◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	
											◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	
応用生物科学部	工学部	◎	1	◎	○	○	○	○	○	◎	◎											
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
応用生物科学部	共同獣医学科	◎	1	◎	○	○	○	○	○	◎	◎											
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
社会システム経営学環	1	◎	1	◎	○	○	○	○	○	◎	◎											
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
社会システム経営学環	1	◎	1	◎	○	○	○	○	○	◎	◎											
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎
												◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎

- (注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」、「理科」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますのでご注意ください。)
- 3 教育学部、地域科学部、医学部看護学科及び社会システム経営学環の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科」をいずれも2科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 「外国語」のうち、「英語」は、「リスニング」と「リーディング」の双方を課します。リーディングを受験し、リスニングを受験しなかった場合は、リスニングの得点は0点となります。ただし、リスニングが免除となる受験上の配慮決定者については、リーディングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。

イ 後 期 日 程

後期・共通テスト

大学入学共通テストの利用教科・科目名													
	国語	地歴、公民		数学		理科	情報						
		地理歴史	公民	数学①	数学②								
学部等	国語	地理総合， 歴史総合， 世界史総合， 日本史総合， 公史総合， 地理総合， 政治・経済， 公共，倫理	数学Ⅰ， 数学Ⅱ， C B II	地生化学 物理学基礎 基礎基礎 ／／／	物理 化学 生物 地学	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	情報Ⅰ						
教育学部	募集しない												
地域科学部 (入試は学部単位で実施)	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	
	1	理科が2の場合は1，理科が1の場合は2 (注1『地理総合／歴史総合／公民』は、「地理総合」「歴史総合」及び「公民」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 (注2 地歴、公民から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・『公、倫』と『公、政・経』 ・『地理総合／歴史総合／公民』を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目。					1	地歴、公民が2の場合は1，地歴、公民が1の場合は2 (注1『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。 (注2 理科から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目。					1

[illegible]

(注) 1 ◎印は必須科目，○印は選択科目を表します。

2 「地理歴史，公民」において，指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては，第1解答科目の得点を採用します。
(なお，第2解答科目の得点は一切採用しないので，学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合，出願資格者となりますのでご注意ください。)

3 地域科学部，医学部看護学科の志願者で，「地理歴史，公民」，「理科」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は，「地理歴史，公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と，第2解答科目のいずれか高得点を採用します。

4 「外国語」のうち，「英語」は，「リーディング」と「リスニング」の双方を課します。リーディングを受験し，リスニングを受験しなかった場合は，リスニングの得点は0点となります。ただし，リスニングが免除となる受験上の配決定定者については，リーディングの得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

大学入学共通テストの利用教科・科目名														
学部等	選抜対象者	選抜対象学科等	国語	地歴、公民				数学		理科	外国語	情報		
				地理歴史		公民		数学①	数学②					
学部等	—	国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 音楽教育 美術教育 保健体育 技術教育 家政教育 英語教育 学校教育 特別支援教育	国語	地歴 探究， ，	世界史 総合， 探究， ，	公史 総合／ ／ ／	公共 ，倫理 ，	政治・公 ・経， 済	数 学 A I ， ，	数 学 C B II ， ，	地生 物学 基礎 ／<			

大学入学共通テストの利用教科・科目名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
学部等	選 抜 対 象 者	選 抜 対 象 学 科 等	地歴，公民			数 学		理科	外国語	情 報																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			地理歴史		公民	数学①	数学②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			国語	地理総合， 歴史総合， 世界史総合， 公民総合， 地理総合， 政治・経済， 公共，倫理	公民	数 学 I ， 数 学 A I ， 数 学 C B II ， 数 学 I I	数 学 I I ， 数 学 C B II ， 数 学 I I																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工 学 部	普 通 ・ 理 数 に 関 す る 学 科	社会基盤工学科	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

大学入学共通テストの利用教科・科目名																			
学部等	選抜対象者	選抜対象学科等	国語	地歴、公民				数学		理科					外国語		情報		
				地理歴史			公民	数学①	数学②	地生化学 生物学基礎 物理学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	フランス語		韓国語	情報Ⅰ
				地理総合 ， 探究，	世界史総合 探究，	歴史総合 ， 倫理													
社会科学系経営学環	学科を問わない	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
商業・実業・工業・農学等の学科			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	

- (注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。
- 2 「地理歴史、公民」、「理科」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。
(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願資格者となりますのでご注意ください。)
- 3 教育学部、地域科学部及び社会科学系経営学環(「商業・工業・農業等の実業に関する学科」を除く)の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科」をいずれも2科目ずつ4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。
- 4 「外国語」のうち、「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の双方を課しますが、本学は「外国語(英語)」の配点は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)ですが、本学は「外国語(英語)」の配点をリーディング150点満点、リスニング50点満点に換算します。リーディングとリスニングの換算後の合計得点を各学部・学科等が定める配点に応じてさらに換算します。リーディングを受験し、リスニングを受験しなかった場合は、リスニングの得点は0点となります。ただし、リスニングが免除となる受験上の配慮決定者については、リーディングの得点を「英語」として各学部等が定める配点に換算します。
- 5 工学部の志願者のうち工業に関する学科を卒業見込み又は卒業後1年以内の者で、複数の教科・科目を受験している場合の得点は次のとおり採用します。
「国語」「地理歴史」及び「公民」(※印のついた教科)の場合
・「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
・「国語」と「地理歴史、公民」の両方を受験している場合は、「国語」と上記の第1解答科目の得点を比較し、得点の高い方を採用します。
「理科」の場合
・2科目を受験している場合には、第1解答科目の得点を採用します。学部が指定する科目を第1解答科目で受験してください。
・応用生物科学部の志願者で、「物基/化基/生基/地基」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の専門学科若しくは総合学科を卒業見込みの者に限ります。
なお、専門学科とは、農業等に関する学科をいいます。普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならないので、これら以外の専門教育を主とする学科に在籍する志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせてください。
また、総合学科とは、卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みのものをいいます。
7 社会科学系経営学環の志願者のうち商業・工業・農業等の実業に関する学科の志願者は、「国語」「地理歴史、公民」及び「理科」(※印のついた教科)から2科目選択する。なお、「国語」「地理歴史、公民」及び「理科」(※印のついた教科)から3科目以上受験している場合は、「国語」は0.5を乗じた得点に換算したうえで、それらの得点の高い順に2つを採用する。

5. 各選抜の実技検査・小論文・面接

○ 教育学部（前期日程）実技検査

前1) 音楽実技・講座面接

a 次の3種目の実技検査を行う。（配点300点）

種目	内 容	注 意 事 項	楽譜コピー (○:要, ×:不要)
1	ソルフェージュ ----- 新曲視唱（調号2つまで）		
2	声 楽 ----- 下記の歌曲の中から1曲を選び演奏する。 イタリア歌曲 G. B. Pergolesi : Nina (e-moll, d-moll) F. P. Tosti : Rosa (F-dur) ドイツ歌曲 R. Schumann : Widmung (As-dur, Ges-dur) F. Schubert : Lachen und Weinen (As-dur, F-dur) 日本歌曲 山田耕筰 : からたちの花 (G-dur, Es-dur) 弘田竜太郎 : 浜千鳥 (Es-dur)	① 伴奏者は本学で用意する。 ② 暗譜演奏すること。	×
3	器 楽 ----- 下記の(1), (2)のどちらかを選択する。 (1) ピアノ ----- バロック時代以降 1945 年以前に作曲されたピアノ 独奏用の作品から任意の1曲を選択し暗譜で演奏す る。 (2) 管楽器・弦楽器・打楽器及びピアノ ----- A 任意の管楽器・弦楽器又は打楽器の独奏曲（練習 曲を含む）を演奏する。 B ピアノ ----- 上記の(1)と同じ課題とする。	① 反復は省略すること。 ② 暗譜演奏すること。 ③ 楽譜は特に指定しない。 A ① 検査当日は無伴奏とする。 ② 楽譜は見てもよい。 ③ 反復は省略すること。 ④ 楽曲の途中から演奏させることもある。 ⑤ 楽器は各自持参すること。 B 上記(1)ピアノの注意事項に同じ。	○ ○ ○

b 講座面接（配点100点）

① 実技検査後に個人面接を行う。（楽典に関する口述試験を含む）

c 共通注意事項

<提出物> 以下3点を他の出願書類と一緒に提出すること

- ① 選択楽曲調書（様式を本学ホームページに掲載）—— i) 楽曲名, ii) 調名, iii) 作曲者名（原語で作曲者名を併記）, iv) 楽譜の出版社名等を記入。
- ② 音楽歴調書（様式を本学ホームページに掲載）—— 参考資料とします。
- ③ 「3 器楽」で演奏する曲の楽譜（(1)ピアノのみ, (2)管楽器・弦楽器・打楽器及びピアノ）のコピー—— 受験者名, 作曲者名, 曲名を記入。

前2) 美術実技・講座面接

a 実技検査は次の内容を行う。（配点300点）

「手の鉛筆デッサン（八つ切り [270 × 380 mm] 画用紙使用。）」

- ① カルトン, 画用紙, 鉛筆 (B・2B・4B), 練り消しゴム, カッターナイフは大学で用意する。
- ② 鉛筆, 練りゴム等, 自分で持参した描画材も使用して構わない。
- ③ 実技検査は2時間。
- ④ 資料の持ち込みや, パソコン, スマートフォン, デジタルカメラ等の電子機器の使用は許可しない。

b 講座面接（配点100点）

① 実技検査後に簡単なグループ面接を行う。

前3) 体 育 実 技 次の実技検査を行う。

運動の専門的能力検査（陸上競技，水泳，ハンドボール，サッカー，ダンス，バレーボール，バスケットボール及びその他（基礎的能力総合検査））のうちから1つ選択とする。なお，怪我に対する特別な配慮は行わない。

○ **教育学部（前期日程）面接（共通面接）**

面接（共通面接）は，総合判定の資料（配点なし）とし，教育学部のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は，総合点にかかわらず不合格とします。

○ **地域科学部（前期日程，後期日程）小論文**

テーマの的確な把握，論理的な思考力等をみるために行う。特定の教科の学力を問うものではない。

○ **医学部医学科（前期日程）面接**

面接は，総合判定の資料（配点なし）とし，医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は，総合点にかかわらず不合格とします。

＜提出物＞他の出願書類と一緒に提出すること

履歴書（様式をホームページに掲載）―参考資料とします。

○ **医学部看護学科（後期日程）小論文・面接**

小論文：与えられた課題に対する理解力，論理的思考力及び文章表現力等を総合的にみるために行う。特定の教科の学力を検査するものではない。

面 接：看護への適性をみるために行う。

○ **社会システム経営学環（前期日程）小論文**

テーマの的確な把握，論理的な思考力等をみるために行う。特定の教科の学力を問うものではない。

6. 各選抜の入試方法等

(1) 学校推薦型選抜

教育・推Ⅱ（ぎふ清流入試）

実 施 学 部	教 育 学 部		
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ（ぎふ清流入試） （大学入学共通テストを課す選抜）		
実施課程、講座 （専攻）及び 募 集 人 員	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程 国 語 教 育 4 人 社 会 科 教 育 1 0 人 数 学 教 育 4 人 理科教育（物理学）2 人 理科教育（化学） 2 人 理科教育（生物学）2 人 理科教育（地学） 3 人 音 楽 教 育 2 人 美 術 教 育 4 人 保 健 体 育 2 人 技 術 教 育 2 人 家 政 教 育 4 人 英 語 教 育 4 人 学校教育（教育心理コース） 3 人 学校教育（学校教育実践コース）5 人 特 別 支 援 教 育 2 人		
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、以下の出願要件のすべてを満たす者で、「令和9年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部が指定する教科・科目を受験するもの a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者、あるいは、令和8年3月卒業の者（令和8年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みの者		
	岐阜大学教育学部への確たる志望理由があること		
	岐阜県内の教員として活躍したいという確たる志望理由があること		
	人物及び学力が優秀であり、志望する講座等に対する能力、素質、適性等について、在籍（卒業）学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること		
	在籍（卒業）学校（教育施設）長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上の者		
	数学教育講座に出願する者は、高等学校等において、数Ⅰ、数A、数Ⅱ、数B、数Ⅲをすべて履修した者、または、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論をすべて履修した者		
入 試 方 法 等	推薦書、岐阜県教員を目指す学修計画書、調査書、大学入学共通テストの成績、音楽歴調書（音楽教育講座）、作品（美術教育講座）、運動歴調書（保健体育講座）及び面接により総合的に判定する。 音楽教育講座は、小学校歌唱共通教材のうち、「春がきた」、「茶つみ」、「ふじ山」、「おぼろ月夜」、「われは海の子」を課題とする。その中から当日1曲が指定され、1番のみ弾き歌いを行う。伴奏楽譜は自由とする。 【面接について】 ・個人面接と集団面接を課す。 ・集団面接は講座等を問わず受験者複数人を1グループとして実施する。 ・個人面接は志望講座等別に実施する。個人面接は一部の講座等において口述試験を含み、英語教育講座は英語面接を含み、音楽教育講座は実技試験を含む（音楽歴調書は個人面接の参考資料とする）。口述試験等を含む講座等は次表のとおり。		
	個人面接		講座・課程
	・口述試験を含む	国語教育講座，社会科教育講座，数学教育講座，理科教育講座，美術教育講座，保健体育講座，技術教育講座，家政教育講座，学校教育講座，特別支援教育講座	
	・英語面接を含む	英語教育講座	
	・実技試験を含む	音楽教育講座	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名		
	教科	科目名等	
	①国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 「物基／化基／生基／地基」（注3、 物、化、生、地 1又は2（注1（注4 英 情Ⅰ （注1 「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 （注2 「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目 （注3 基礎は2出題範囲で1となります。 （注4 「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物基／化基／生基／地基」を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目	
		1又は2 （注1（注2	

教育・推Ⅱ（ぎふ清流入試）

入 試 方 法 等	〔注5「地理歴史、公民」、「理科」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。〕 〔注6「地理歴史、公民」、「理科」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。〕 〔6教科8科目、7教科8科目〕
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年12月15日（火）～18日（金）13時まで 出願書類受付期間：令和8年12月15日（火）～18日（金） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入 試 期 日	令和9年1月31日（日）
合 格 者 発 表 日	令和9年2月8日（月）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	個別学力検査は課さない。 1 1校からの推薦者数は、教育学部全体で5名以内（音楽教育、美術教育、保健体育を除く。）とする 2 次の講座等は1校から2名以内とする（国語教育、社会科教育、理科教育（1専攻に2名も可）、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、学校教育（1コース1名以内）・特別支援教育） 3 次の講座は1校から1名以内とする（数学教育、英語教育） 4 音楽教育講座の志望者は、音楽歴調書を提出すること 5 美術教育講座の志望者は、作品証明書を提出すること。また、記入した作品5点以内を試験当日までに持参すること 6 保健体育講座の志望者は、運動歴調書を提出すること

地域・推Ⅰ

実 施 学 部	地 域 科 学 部
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅰ (大学入学共通テストを課さない選抜)
実 施 学 科 及 び 募 集 人 員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 6人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。 〕
出 願 要 件	令和9年3月高等学校（中等教育学校高等部を含む。）の専門学科又は総合学科、及び特別支援学校高等部を卒業見込みの者 ※ 専門学科については、職業教育を主とする学科に在籍する者とする。普通科，理数科，英語科等の在籍者は対象とならない。特別支援学校高等部については学科を限定しない。 人物及び修学姿勢において秀で、本学部に対する意欲，適性等について在籍学校長が責任をもって推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者で，次の要件を満たしていること。 学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者
入 試 方 法 等	推薦書，志望理由書，調査書，小論文及び面接により総合的に判定する。
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年11月1日（日）～6日（金）13時まで 出願書類受付期間：令和8年11月1日（日）～6日（金） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入 試 期 日	令和8年11月14日（土）
合 格 者 発 表 日	令和8年12月1日（火）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	個別学力検査は課さない。各学校長が推薦できる人数に制限はありません。

実 施 学 部	地 域 科 学 部	
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)	
実 施 学 科 及 び 募 集 人 員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 10人 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。	
出 願 要 件	次のいずれかに該当し，出願要件のすべてを満たす者で，「令和9年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち，本学部が指定する教科・科目を受験するもの a) 令和9年3月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みの者	
	人物及び修学姿勢において秀で，本学部に対する意欲，適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者。	
入 試 方 法 等	推薦書，志望理由書，調査書，大学入学共通テストの成績及び面接により総合的に判定する。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科目名等
	①国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」 「数Ⅰ、数Ⅱ」と「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ」の2 「物基／化基／生基／地基」（注3、 物、化、生、地 1又は2（注1（注4 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ （注1「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1及び理科から2」 ・「地総／歴総／公」は2出題範囲で1となります。 （注2「地歴、公民」から2科目選択する場合は，次の組み合わせを選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総／歴総／公」を選択した者は，選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目 （注3 基礎は2出題範囲で1となります。 （注4「理科」から2科目選択する場合は，次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物基／化基／生基／地基」を選択した者は，基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 （注5「地理歴史，公民」，「理科」において，指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては，第1解答科目の得点を採用します。 （注6「地理歴史，公民」，「理科」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は，「地理歴史，公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と，第2解答科目のいずれか高得点を採用します。 [6教科8科目、7教科8科目]
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年12月15日（火）～18日（金）13時まで	
	出願書類受付期間：令和8年12月15日（火）～18日（金） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。	
入 試 期 日	令和9年1月30日（土）	
合 格 者 発 表 日	令和9年2月8日（月）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
そ の 他	個別学力検査は課さない。1校からの推薦者数は，3人以内	

医学・推Ⅱ

実 施 学 部	医 学 部	
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)	
	一般推薦	地域枠推薦
実 施 学 科 及 び 募 集 人 員	医 学 科 27人	医 学 科 28人 (岐阜県コース, 地域医療コース) (募集人員は設置認可申請予定の人数であり, 変更があり得ます。)
選 抜 の 対 象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 令和9年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者、あるいは令和8年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため、令和8年4月1日以降、学年の途中において、あるいは学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。) b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了見込みの者、あるいは令和7年4月から令和9年3月までに修了の者	高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を令和9年3月卒業見込みの者、あるいは令和8年3月卒業の者(外国の高等学校に留学したため、令和8年4月1日以降、学年の途中において、あるいは学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)で、次の①、②のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 ① 岐阜県内の高等学校であること。 ② 他県の高等学校の場合は、在学期間中の3年間岐阜県内に居住し、居住地から通学していること。
出 願 要 件	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍(卒業)学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。	人物及び学力が優秀であり、岐阜県の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、能力、素質、適性等について在籍(卒業)学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件をすべて満たしていること。
	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者	出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者で以下のことを確約する者 ・入学後、岐阜県医学生第1種修学資金を受給すること。 ・卒業後、2年間の初期臨床研修を岐阜県内(地域医療コースは出身圏域)で行い、その後岐阜県内の医療機関等において一定の期間、各コースにて指定されたプログラムで業務に従事(※1)すること。
		地域医療コースは上記要件に加え、対象市町村の出身者で、かつ当該市町村長の推薦を受けた者(※2)。
入 試 方 法 等	「令和9年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部・学科が指定する教科・科目を受験した者	
	大学入学共通テストに基準点を設け、基準点以上を得た受験者の中から、推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績、小論文及び面接により総合的に判定する。 ※ それぞれの詳細な選抜方法等は、学校推薦型選抜Ⅱ募集要項(11月下旬公表予定)を参照してください。 大学入学共通テストの基準点は、一般推薦は配点の78%、地域枠推薦(岐阜県コース)は配点の74%、地域枠推薦(地域医療コース)は配点の70%です。ただし、大学入学共通テストの基準点を満たさない者であっても、大学入試センターが発表する大学入学共通テストにおける中間集計の科目平均点の規定倍(一般推薦は1.4倍、地域枠推薦(岐阜県コース)は1.3倍、地域枠推薦(地域医療コース)は1.25倍)以上であれば合格の対象とします。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
	教科	科 目 名 等
	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化、生 2 英 情Ⅰ [6教科8科目] 注)「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。(第2解答科目の得点は一切採用しないため、指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。)
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和9年1月19日(火)～22日(金)13時まで	
	出願書類受付期間：令和9年1月19日(火)～22日(金) 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。	
入 試 期 日	令和9年1月28日(木)・29日(金)	
合 格 者 発 表 日	令和9年2月8日(月)※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	

そ の 他	個別学力検査は課さない。 ・個別学力検査は課さない。 ・1 高等学校からの推薦者数は、7 人まで。 (※1) ・岐阜県医学生修学資金(第1種)を受給し、卒業後一定の期間、指定されたプログラムにより勤務することが要件。その場合、修学資金の返還が免除される。 ・岐阜県医学生修学資金および返還免除条件については、岐阜県の医学生修学資金 Web ページを参照してください。 (※2) ・地域医療コースの対象となる市町村など、詳細については岐阜県の医学生修学資金 Web ページを参照してください。
-------	--

看護・推 I

実 施 学 部	医 学 部
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)
実 施 学 科 及 び 募 集 人 員	看 護 学 科 15 人
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 令和9年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みの者 人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。 学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者
入 試 方 法 等	推薦書、志望理由書、※調査書、小論文(英語での出題含む。)及び面接により総合的に判定する。
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年11月1日(日)～6日(金)13時まで 出願書類受付期間：令和8年11月1日(日)～6日(金) 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入 試 期 日	令和8年11月14日(土)
合 格 者 発 表 日	令和8年12月1日(火) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	・大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。 ・1 校からの推薦者数は、3 人以内

※高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず結果を記載できないことや、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

工学・推I

実施学部	工 学 部
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)
実施学科及び募集人員	機械工学科（機械コース，知能機械コース） 2人
出 願 要 件	令和9年3月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の工業に関する学科を卒業見込みの者で，在籍中に宇宙人材の育成を目的とし，大学又は国立研究開発法人が5日以上にわたって実施する宇宙工学に関する講座を修了した者，又は現在受講中の者。 (注) 総合学科在籍者の取り扱い 工業に関する科目 25 単位以上取得：工業に関する学科を卒業見込みの者とみなす。
	人物及び学力が優秀であり，志望学科に対する能力，素質，適性等について在籍する学校長が責任をもって推薦できる者で，かつ，合格した場合には入学することを確約できる者で，次の要件を満たしていること。
	学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階の者
入 試 方 法 等	推薦書，志望理由書，調査書及び面接（プレゼンテーションと質疑応答）により総合的に判定する。
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年11月1日（日）～6日（金）13時まで
	出願書類受付期間：令和8年11月1日（日）～6日（金） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入 試 期 日	令和8年11月14日（土）
合 格 発 表 日	令和8年12月1日（火）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	・大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。 ・1校からの推薦者数は，2人以内

工学・推Ⅱ

実施学部	工 学 部					
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)					
	普通・理数に関する学科			工業に関する学科		
学 科 及 び 募 集 人 員	社会基盤工学科	環境・防災デザイン コース	10 人	社会基盤工学科	環境・防災デザイン コース	2 人
	機械工学科	機械コース	8 人	機械工学科	機械コース	1 人
		知能機械コース	5 人		知能機械コース	1 人
	化学・生命工学科	物質化学コース	12 人	化学・生命工学科	物質化学コース	2 人
		生命化学コース	6 人		生命化学コース	2 人
	電気電子・情報工学科	電気電子コース	6 人	電気電子・情報工学科	電気電子コース	2 人
		情報コース	11 人		情報コース	2 人
		応用物理コース	4 人		応用物理コース	1 人
選抜の対象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の普通科又は理数に関する学科を、令和9年3月に卒業見込みの者、あるいは、令和8年3月卒業の者（外国の高等学校に留学したため、令和8年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和7年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みの者			次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の工業に関する学科を、令和9年3月に卒業見込みの者、あるいは、令和8年3月卒業の者（外国の高等学校に留学したため、令和8年4月1日以降、学年の途中において、あるいは、学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。） b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程を令和7年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みの者		
出 願 要 件	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適性等について在籍学校（教育施設）長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たし、「令和9年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部が指定する教科・科目を受験する者 学校長が発行する調査書の学習成績概評（中等教育学校にあっては後期課程）がB段階以上の者で、数学・外国語・理科いずれか1教科の学習成績の状況が4.0以上の者					
総合学科在籍者の取扱い	工業に関する科目 25 単位未満			工業に関する科目 25 単位以上		
入 試 方 法 等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績及び面接により総合的に判定する。					
	大学入学共通テストの利用教科・科目名					
	学科	教科	科 目 名 等	学科	教科	科 目 名 等
	社会基盤工学科	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」（注1） 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物（必須）、化、生、地 1	社会基盤工学科 機 械 工 学 科 電気電子・情報工学科	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」（注1） 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2
		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物（必須）、化、生、地 1 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔5教科6科目〕
	機 械 工 学 科 電気電子・情報工学科	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」（注1） 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕	化学・生命工学科	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」（注1） 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2
		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 化 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔5教科6科目〕
	化学・生命工学科	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」（注1） 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 化（必須）、物、生 1 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕	注) 「国語」、「地理歴史」及び「公民」において複数の教科・科目を受験している場合は、最高得点の科目を採用します。 なお、「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。 また、「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。（第2解答科目の得点は一切採用しないため、指定する科目を第2解答科目で受験した場合は出願無資格者となりますので御注意ください。）	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」（注1） 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 化 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕
		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 化（必須）、物、生 1 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕		数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 化 英 情Ⅰ (注1 2 出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕
	注) 「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。					
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和9年1月19日（火）～22日（金）13時まで					
	出願書類受付期間：令和9年1月19日（火）～22日（金） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。					

入 試 期 日	令和 9 年 1 月 30 日（土）	
合格者発表日	令和 9 年 2 月 8 日（月）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
そ の 他	個別学力検査は課さない。	
	1 校からの推薦者数は、社会基盤工学科は学科で 6 人以内、その他の学科は各コース 3 人以内	1 校からの推薦者数の制限は設けない

応生・推 I

実 施 学 部	応 用 生 物 科 学 部	
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 I (大学入学共通テストを課さない選抜)	
実 施 課 程 及 び 募 集 人 員	応用生命化学科 2 人 食農生命科学科 3 人 生物圏環境学科 3 人	
選 抜 の 対 象	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者 a) 令和 9 年 3 月高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）の専門学科※ ⁽¹⁾ 又は総合学科※ ⁽²⁾ を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。）の当該課程で専門学科※ ⁽¹⁾ 又は総合学科※ ⁽²⁾ に相当する教育を受け、令和 8 年 4 月から令和 9 年 3 月までに修了又は修了見込みの者	
出 願 要 件	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適正等について在籍高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)長又は文部科学大臣認定等在外教育施設の長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の要件を満たしていること。 学校長が発行する調査書の学習成績概評が A 段階の者	
入 試 方 法 等	推薦書，志望理由書，調査書，小論文及び面接により総合的に判定する。	
	小論文及び面接は，主に理科に関する基礎的な学力を判定する内容を含む。	
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和 8 年 11 月 1 日（日）～ 6 日（金）13 時まで	
	出願書類受付期間：令和 8 年 11 月 1 日（日）～ 6 日（金） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。	
入 試 期 日	令和 8 年 11 月 16 日（月）・17 日（火） *17 日は面接予備日	
合格者発表日	令和 8 年 12 月 1 日（火）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。	
そ の 他	・大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。 ・1 校から推薦できる人数に制限は設けません。	

[選抜の対象について]

- ※(1) 専門学科：ア 専門教育を主とする学科のうち農業等に関する学科に在籍する者とする。
 イ ア以外の学科に在籍の志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。
 ウ 普通科，理数科，英語科等の在籍者は対象とならない。

※(2) 総合学科：卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について，25 単位以上修得見込みの者とする。

(1)，(2)について，文部科学大臣認定等在外教育施設の高等部にあつては，専門学科又は総合学科に相当する教育を行う課程に在籍する者とし，志願者は出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。

応生・推Ⅱ

実 施 学 部	応 用 生 物 科 学 部			
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)			
実 施 課 程 及 び 募 集 人 員	応用生命化学科 8人 食農生命科学科 8人 生物圏環境学科 8人		共同獣医学科 4人	
出 願 要 件	人物及び学力が優秀であり、志望学科に対する能力、素質、適正等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当し、「令和9年度大学入学共通テスト」の教科・科目のうち、本学部・学科が指定する教科・科目を受験するもの a) 令和9年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みの者			
入 試 方 法 等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績、小論文及び面接により総合的に判定する。		推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績及び面接により総合的に判定する。	
	大学入学共通テストの利用教科・科目名			
	教科	科目名等	教科	科目名等
	専門学科(農業等に関する学科等)・総合学科を卒業見込みの者 数 理 外 情 英 情 I (注1 基礎は2出題範囲で1となります。 (注2 「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物基／化基／生基／地基」を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 〔4教科6科目〕 専門学科(農業等に関する学科等)・総合学科以外を卒業見込みの者 数 理 外 情 英 情 I 〔4教科6科目〕 注) 1『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択できる者は、高等学校等の専門学科※ ⁽¹⁾ 又は総合学科※ ⁽²⁾ を卒業見込みの者に限ります。「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。 理科から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできません。 ・「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目。	国 地歴 公民 数 理 外 情 英 情 I 国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総／歴総／公」(注1 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 物、化、生、地 2 英 情 I (注1 2出題範囲で1となります。 〔6教科8科目〕 注)「地理歴史、公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。		
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年12月15日(火)～18日(金)13時まで 出願書類受付期間：令和8年12月15日(火)～18日(金) 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。			
入 試 期 日	令和9年1月30日(土)・31日(日)			
合格者発表日	令和9年2月8日(月)※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。			
そ の 他	・個別学力検査は課さない。 ・1校から推薦できる人数に制限は設けません。			

※(1)専門学科：ア 専門教育を主とする学科のうち農業等に関する学科に在籍する者とする。
 イ ア以外の学科に在籍の志願者は、出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。
 ウ 普通科、理数科、英語科等の在籍者は対象とならない。

※(2)総合学科：卒業に必要な単位のうち職業に関する教科・科目について、25単位以上修得見込みの者とする。
 (1)、(2)について、文部科学大臣認定等在外教育施設の高等部にあっては、専門学科又は総合学科に相当する教育を行う課程に在籍する者とし、志願者は出願前に応用生物科学部学務係へ問い合わせること。

実 施 学 部	社 会 シ ス テ ム 経 営 学 環			
入 試 種 別	学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ (大学入学共通テストを課す選抜)			
	学科を問わない		商業・工業・農業等の実業に関する学科	
募 集 人 員	13 人		2 人	
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者で、「令和9年度大学共通テスト」の教科・科目のうち、本学環が指定する教科・科目を受験するもの a) 令和9年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)を卒業見込みの者。 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を令和8年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みのもの。		次のいずれかに該当し、出願要件のすべてを満たす者で、「令和9年度大学共通テスト」の教科・科目のうち、本学環が指定する教科・科目を受験するもの a) 令和9年3月高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)の <u>商業・工業・農業等の実業に関する学科</u> を卒業見込みの者。 b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程で <u>商業・工業・農業等の実業に関する学科</u> に相当する教育を受け、令和8年4月から令和9年3月までに修了又は修了見込みのもの。	
	人物及び修学姿勢において秀で、本学環に対する意欲、適性等について在籍学校(教育施設)長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者。			
入 試 方 法 等	推薦書、志望理由書、調査書、大学入学共通テストの成績、小論文及び面接により総合的に判定する。			
	大学入学共通テストの利用教科・科目名			
	教科	科目名等	教科	科目名等
	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、1又は2 「公、倫」、「公、政・経」、 「地総/歴総/公」 数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 「物基/化基/生基/地基」(注3) 物、化、生、地 1又は2(注1(注4 英 情Ⅰ (注1 「地歴、公民から2及び理科から1」又は「地歴、公民から1及び理科から2」 ・「地総/歴総/公」は2出題範囲で1となります。 (注2 「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総/歴総/公」を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注3 基礎は2出題範囲で1となります。 (注4 「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物基/化基/生基/地基」を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (注5 「地理歴史、公民」、「理科」のいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。 〔6教科8科目、7教科8科目〕	国 地歴 公民	国 (注1 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公、倫」、「公、政・経」、 「地総/歴総/公」(注1(注2(注3 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 「物基/化基/生基/地基」(注4 物、化、生、地 (注1(注5 英 情Ⅰ (注1 「国語」、「地歴、公民」、「理科」から2科目選択する。 (注2 「地総/歴総/公」は2出題範囲で1となります。 (注3 「地歴、公民」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「公、倫」と「公、政・経」 ・「地総/歴総/公」を選択した者は、選択した2出題範囲の内容と同一名称の出題範囲を含む科目 (注4 基礎は2出題範囲で1となります。 (注5 「理科」から2科目選択する場合は、次の組み合わせを選択することはできない。 ・「物基/化基/生基/地基」を選択した者は、基礎において選択した2出題範囲の内容と同一名称を付した科目 (注6 「国語」、「地理歴史、公民」及び「理科」から3科目以上受験した場合は、「国語」は0.5を乗じた得点に換算したうえで、それらの得点の高い順に2つを採用する。 〔4教科6科目、5教科6科目、6教科6科目〕
	数 理		数 理	
	外 情		外 情	
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年12月15日(火)～18日(金)13時まで 出願書類受付期間：令和8年12月15日(火)～18日(金) 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。			
入 試 期 日	令和9年1月30日(土)・31日(日)			
合格者発表日	令和9年2月8日(月)※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。			
そ の 他	個別学力検査は課さない。1校からの推薦者は、「学科を問わない」「商業・工業・農業等の実業に関する学科」あわせて2人以内。併願は認めない。 「商業・工業・農業等の実業に関する学科」とは商業、工業、農業、水産に関する専門学科とします。 「商業・工業・農業等の実業に関する学科」に欠員が生じたときは「学科を問わない」から補充します。			

(2) 社会人選抜

地域・社会人

実施学部	地域科学部
入試種別	社会人選抜
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 2人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。 〕
出願要件	令和9年4月1日現在満年齢25歳に達し，5年以上の社会人経験(注1)を有し，次のいずれかの要件を満たしている者 (注1)全日制の学校に在籍していた期間は含みませんが，就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間および家事・家業に従事していた期間は含みます。 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 (注2) 上記の③に該当する者は，次のとおりです。 ア 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号) イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を修了した者 ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ 文部科学大臣の指定した者〔昭和23年文部省告示第47号(大学入学に関し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定)〕 オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(令和9年3月までに合格見込みの者を含む。) カ 大学入学資格検定に合格した者 キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
入試方法等	小論文，面接及び出願書類により総合的に判定する。
出願期間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年10月1日(木)～7日(水)13時まで 出願書類受付期間：令和8年10月1日(木)～7日(水) 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入試期日	令和8年11月14日(土)
合格者発表日	令和8年12月1日(火)※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。

実 施 学 部	医 学 部
入 試 種 別	社 会 人 選 抜
実施学科及び募集人員	看 護 学 科 3 人
出 願 要 件	令和 9 年 4 月 1 日現在満年齢 23 歳に達し、3 年以上の社会人経験(注 1)を有し、次のいずれかの要件を満たしている者 (注 1)全日制の学校に在籍していた期間は含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間および家事・家業に従事していた期間は含みます。 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 ③ 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 (注 2) 上記の③に該当する者は、次のとおりです。 ア 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和 56 年文部省告示第 153 号) イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定したものを含む。)の当該課程を修了した者 ウ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ 文部科学大臣の指定した者[昭和 23 年文部省告示第 47 号(大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定)] オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(令和 9 年 3 月までに合格見込みの者を含む。) カ 大学入学資格検定に合格した者 キ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
入 試 方 法 等	志望理由書、履歴書、小論文(英語での出題を含む。)及び面接により総合的に判定する。
出 願 期 間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間: 令和 8 年 11 月 1 日(日)～6 日(金) 13 時まで 出願書類受付期間: 令和 8 年 11 月 1 日(日)～6 日(金) 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入 試 期 日	令和 8 年 1 1 月 14 日(土)
合 格 者 発 表 日	令和 8 年 12 月 1 日(火) ※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
そ の 他	大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。

(3) 帰国生選抜

地域・帰国生

実施学部	地域科学部
入試種別	帰国生選抜
実施学科及び募集人員	地域政策学科，地域文化学科 2学科合計 1人 〔 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。 所属学科は2年次に決定します。 〕
出願要件	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で，保護者の外国勤務等の事情により外国の学校教育を受け，次のいずれかに該当する者 ① 外国の正規の学校教育における12年の課程（日本における通常の課程における学校教育の期間を含む。）を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号） ただし，12年の課程のうち，外国において最終学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から，国際バカロレア資格証書を令和6年から令和7年までに授与された者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和6年から令和7年までに取得した者 ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和6年から令和7年までに取得した者 ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔3科目以上合格，評価E以上〕を令和7年から令和8年までに取得した者 ⑥ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC，ACSI，CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和7年から令和8年までに修了した者
入試方法等	小論文，面接及び出願書類により総合的に判定する。
出願期間	インターネット出願登録及び入学検定料払込期間：令和8年10月1日（木）～7日（水）13時まで 出願書類受付期間：令和8年10月1日（木）～7日（水） 受付期間最終日までの消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。
入試期日	令和8年11月14日（土）
合格者発表日	令和8年12月1日（火）※本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。掲示発表は行いません。
その他	大学入学共通テスト及び個別学力検査は課さない。

(4) 私費外国人留学生選抜

私費外国人留学生

実施学部等	教育学部	地域科学部	医学部医学科	工学部	応用生命化学科 食農生命科学科 生物圏環境学科																							
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名																							
出願資格	1 日本国籍を有しない者 2 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得できる見込みの者 3 次のいずれかに該当する者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号） ※「12年の課程」に日本の学校での期間が含まれる場合 日本の中学校及び高等学校又は中等教育学校に在籍していた期間が通算して3年以内であり、かつ日本の高等学校に対応する外国の学校（日本にある外国人学校を含む。）を卒業した者 ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）〔3科目以上合格、評価E以上〕を有する者 ⑥ 英国において大学入学資格として認められているインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（インターナショナルAレベル資格）を有する者 ⑦ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者 ⑧ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者 ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 4 地域科学部については、次の要件を満たしている者 <table><tr><td>学部</td><td>TOEFL iBT</td></tr><tr><td>地域科学部</td><td>65点以上</td></tr></table> 5 工学部については、次の要件を満たしている者 <table><tr><td>学科</td><td>日本留学試験</td><td>TOEFL iBT</td></tr><tr><td>全4学科</td><td>理科2科目及び数学の合計点が240点以上</td><td>45点以上</td></tr></table> 6 応用生物科学部については、次の要件を満たしている者 <table><tr><th rowspan="2">学 科 等</th><th colspan="3">日 本 留 学 試 験</th><th rowspan="2">TOEFL iBT</th></tr><tr><th>合 計 点 （※1）</th><th>「日本語」 （※1）</th><th>「日本語」の 「記述」領域</th></tr><tr><td>応用生命化学科 食農生命科学科 生物圏環境学科</td><td>640点以上</td><td>320点以上</td><td>40点以上</td><td>71点以上</td></tr></table> （備考） 1 ※1について、日本留学試験の「日本語」の「記述」領域の得点を除く。 2 岐阜大学は、TOEFL iBT テストの Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。（My Best スコアは活用しません。）					学部	TOEFL iBT	地域科学部	65点以上	学科	日本留学試験	TOEFL iBT	全4学科	理科2科目及び数学の合計点が240点以上	45点以上	学 科 等	日 本 留 学 試 験			TOEFL iBT	合 計 点 （※1）	「日本語」 （※1）	「日本語」の 「記述」領域	応用生命化学科 食農生命科学科 生物圏環境学科	640点以上	320点以上	40点以上	71点以上
	学部	TOEFL iBT																										
	地域科学部	65点以上																										
	学科	日本留学試験	TOEFL iBT																									
	全4学科	理科2科目及び数学の合計点が240点以上	45点以上																									
	学 科 等	日 本 留 学 試 験			TOEFL iBT																							
		合 計 点 （※1）	「日本語」 （※1）	「日本語」の 「記述」領域																								
	応用生命化学科 食農生命科学科 生物圏環境学科	640点以上	320点以上	40点以上	71点以上																							
	入試方法等	次ページのとおり																										
	実施学部	教育学部	地域科学部	医学部医学科	工学部	応用生物科学部																						
インターネット 出願登録及び入学検定料 払込期間	令和8年 12月11日（金）～ 12月22日（火） 13時まで	令和8年 12月11日（金）～ 12月22日（火） 13時まで	令和8年 12月11日（金）～ 12月22日（火） 13時まで	令和8年 12月31日（木）～ 令和9年 1月7日（木） 13時まで	令和8年 12月31日（木）～ 令和9年 1月7日（木） 13時まで																							
出願書類 受付期間＊	令和8年 12月18日（金）～ 12月22日（火）	令和8年 12月18日（金）～ 12月22日（火）	令和8年 12月18日（金）～ 12月22日（火）	令和9年 1月4日（月）～ 1月7日（木）	令和9年 1月4日（月）～ 1月7日（木）																							
入試期日	令和9年 1月22日（金）	令和9年 1月30日（土）	令和9年 1月28日（木）	書類選考 個別学力検査は課さない	書類選考 個別学力検査は課さない																							
合格者発表日	令和9年2月8日（月）＊合格者発表は本学のホームページにて行います。合格者の受験番号の掲示発表は行いません。																											

*出願書類受付期間後に到着したものについては、期間最終日までの発信局（日本国内）消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。

入試方法等について

学部	課程・学科・講座(専攻)		日本留学試験					成績利用	個別学力検査等				TOEFL	渡日前入学許可の有無		
			文系	理系	数学のコース	理 科 の 科目選択	基礎学力 出題言語		小論文	学科試験	面接	実技検査				
教育学部	学校教育 教員養成課程	国語教育	○	/	1又は2	/	日本語 又は 英語 (自由選択)	2026年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	○	×	○ (日本語)	×	○	無		
		社会科教育							×	○数学		×				
		学校教育 (学校教育実践コース)							○	×		×				
		学校教育 (教育心理コース)	/	○	2	2科目 自由選択			○	×		×				
		特別支援教育							×	×		○				
		数学教育							○	×		×				
		理科教育(物理学)							×	×		○				
		理科教育(化学)	/	○	2	2科目 自由選択			○	×		×				
		理科教育(生物学)							×	×		○				
		理科教育(地学)							×	×		○※1				
		音楽教育	○	/	1又は2	/			×	×	○					
		美術教育							○	×	×					
		保健体育							○	×	×					
		技術教育	/	○	2	2科目 自由選択			○	×	×					
家政教育	×	×							○※1							
英語教育	○	/	1又は2	/	○	×	×	○※1								
地域科学部	地域政策学科 地域文化学科 (入試は学部単位で実施)		文 系 又は 理 系	/	1又は2	理科の場合 2科目 自由選択	日本語 又は 英語 (自由選択)	2026年度又は 2025年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	○	×	○ (日本語)	/	△	無		
医学部	医 学 科		/	○	2	2科目 自由選択	日本語		○	×	○ (日本語)	/	○	無		
工学部	社会基盤工学科	環境・防災デザインコース	/	○	2	2科目 自由選択	日本語	2026年度又は 2025年度日本留学試験のいずれか1回分の成績	×			/	○	有		
	機械工学科	機械コース 知能機械コース														
	化学・生命工学科	物質化学コース 生命化学コース														
	電気電子・情報工学科	電気電子コース 情報コース 応用物理コース														
応用生物科学部	応 用 生 命 化 学 科 食 農 生 命 科 学 科 物 産 生 命 科 学 科 生 物 圏 環 境 学 科		/	○	2	2科目 自由選択	日本語		×			/	△	有		

(備考)

1 全学部該当事項

- 印は入試の対象とすること、×印は入試の対象としないこと、△印は出願要件の対象とすることを表します。
- 上記の各試験の成績により総合的に判定します。
- 「日本留学試験」の取扱いについて
 - 利用科目について
表中「文系」は、「日本語」、「総合科目」、「数学」を受験することを示します。
表中「理系」は、「日本語」、「理科」、「数学」を受験することを示します。
 - 「数学のコース」欄について
「コース1」は、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用です。「1」は、これを受験することを示します。
「コース2」は、数学を高度に必要とする学部用です。「2」は、これを受験することを示します。

2 教育学部に該当事項

小論文及び実技検査の内容は、講座(専攻)により異なります。
※1 英語教育講座の実技検査は、英語により英語4技能による検査を行います。

3 地域科学部及び応用生物科学部に該当事項

日本留学試験の日本語の得点は、「読解」及び「聴解・聴読解」の2領域を使用します。

4 教育学部、医学部医学科及び工学部に該当事項

日本留学試験の日本語の得点は、「記述」、「読解」及び「聴解・聴読解」の3領域を使用します。

VIII 学生募集要項・大学（学部等）案内の入手方法等

1. 学生募集要項の公表時期

名 称	配布等時期（予定）	略 称	備 考
一 般 選 抜 学 生 募 集 要 項	11 月下旬	一 般 募 集 要 項	冊子での配布は行いません。 時期になりましたら本学ホームページ上に電子ファイルを掲載しますので、各自でダウンロードしてください。（表紙裏 参照）
学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項		推 薦 Ⅱ 募 集 要 項	
学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	7 月下旬	推 薦 Ⅰ 募 集 要 項	
社 会 人 選 抜 学 生 募 集 要 項		社 会 人 募 集 要 項	
帰 国 生 選 抜 学 生 募 集 要 項		帰 国 生 募 集 要 項	
私費外国人留学生選抜学生募集要項	11 月下旬	私費外国人募集要項	

2. ホームページでの入試情報提供

<https://www.gifu-u.ac.jp/>

詳しい資料の入手方法やその他の入試情報を掲載しています。

岐阜大学のホームページ「入試案内」又は「入試最新情報」等をご覧ください。

ホームページ上の入試情報

掲載開始時期	内 容
7 月	大学案内等を取り寄せる方法
11 月	各募集要項の公表
12 月	インターネット出願サイトの案内
2 月	出願受付状況・合格者発表（推薦Ⅱ・私費外国人留学生選抜）
3 月	合格者発表（一般選抜）・追加合格の実施の有無

※合格者の受験番号の掲示発表は行いません。

3. 岐阜大学案内・各学部案内の請求方法

a 大学のホームページからアクセスする場合

大学のホームページから「テレメール」又は「モパっちょ」へアクセスして資料請求ができます。

料金は資料到着後の後払いです。

詳しくは、岐阜大学のホームページをご覧ください。（入試案内＞大学（学部）入試情報＞資料請求）

パソコンのほかにスマートフォン、携帯電話からもアクセスできます。

b テレメールを利用した請求方法

「岐阜大学案内」「各学部案内」（工学部は学科別のパンフレットのみ）が請求できます。

〔受付期間〕（発送開始前の申込は、予約受付となります。）

・「岐阜大学案内」「各学部案内」→ 令和8年4月上旬から

〔発送開始時期〕

・「岐阜大学案内」「各学部案内」→ 令和8年6月上旬から

[請求手順]

- ① 下記の方法でテレメールにアクセスしてください。

 テレメール	インターネットの場合	
	https://telemail.jp	
	右の QR コードからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。	

- ② 次に請求を希望する岐阜大学の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	発送開始（予定）時期
大学案内	5 6 3 6 5 2	6月上旬
教育学部案内	5 6 3 6 7 2	6月下旬
地域科学部案内	5 6 3 6 8 2	6月中旬
医学部医学科案内	5 6 3 6 9 2	6月下旬
医学部看護学科案内	5 4 3 6 6 2	6月下旬
工学部 社会基盤工学科パンフレット	9 5 4 9 5 1	6月下旬
工学部 機械工学科パンフレット	9 5 3 2 8 2	6月下旬
工学部 化学・生命工学科パンフレット	9 5 3 2 9 2	6月下旬
工学部 電気電子・情報工学科パンフレット	9 5 3 3 0 2	6月下旬
応用生物科学部案内	5 6 9 8 7 2	8月上旬
社会システム経営学環案内	7 9 4 4 0 2	5月中旬

- ③あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※資料は発送日からおおむね3～5日で届きます。土日祝日は配達がありません。土日祝日をはさむ場合やお届け先の地域や郵便事情によっては、お届けに1週間ほど要する場合があります。随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。

※料金のお支払い方法は「クレジットカード払い」「携帯キャリア払い」「PayPay」「コンビニ払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い）」がご利用になれます。クレジットカード払い、携帯キャリア払い、PayPayはテレメールお支払いサイト利用料が、コンビニ払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料が、支払い時に別途必要です。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

株式会社フロムページ「テレメールカスタマーセンター」

I P 電話 (050) 8601-0102

(受付時間 9:30～18:00)

c モバっちょを利用した請求方法

「岐阜大学案内」のみが請求できます。

下記のいずれかの方法でアクセスし、請求してください。

パソコンから請求する	携帯電話, スマートフォンから請求する
https://djc-mb.jp/gifu-u/	右のQRコードから アクセスする。
	

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についての問い合わせ先

大学情報センター株式会社 「モバっちょカスタマーセンター」

TEL : 050-3540-5005 (平日 10:00～18:00)

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

岐阜大学 令和9年度入試の変更点（特記事項）

【前期日程】

教育学部保健体育講座における試験実施方法を変更…………… P. 36
 ・体育実技について、
 ※バレーボール、バスケットボールを追加

【学校推薦型選抜Ⅰ】

地域科学部における出願要件を変更…………… P. 38
 ・各学校長が推薦できる人数に制限を設けない

工学部機械工学科において学校推薦型選抜Ⅰの実施…………… P. 4, P. 7, P. 9, P. 16, P. 22, P. 42

【学校推薦型選抜Ⅱ】

応用生物科学部共同獣医学科の学校推薦型選抜Ⅱにおいてアドミッションポリシー、
 選抜方法を変更…………… P. 6, P. 17, P. 24, P. 26, P. 45
 ・アドミッションポリシーの変更…………… P. 6
 ・選抜方法の変更
 個別学力検査等については面接のみに変更…………… P. 17, P. 24, P. 45
 ・志願者数が募集人員の9倍を超えた場合には、個別学力試験を適切に実施するため、
 調査書の「全体の学習成績の状況」により第1段階選抜を行う…………… P. 17, P. 26

【私費外国人留学生選抜】

地域科学部における出願資格の変更…………… P. 50
 ・出願資格において、日本留学試験の所定の科目を受験していることに加え、新たに
 TOEFL iBT（インターネット方式のテスト）が65点以上である者とする。

※上記以外にも変更点がありますので、本要項を確認願います。詳細については、学校推薦型選抜Ⅰは7月下旬、そのほかの入試は11月下旬に公表する令和9年度学生募集要項で必ず確認してください。

岐阜大学 HP : <https://www.gifu-u.ac.jp/news/admission/>



大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除について

岐阜大学では、大規模自然災害により被災した入学志願者に対して検定料免除の特別措置を行います。詳細は岐阜大学のホームページを参照してください。

<問い合わせ先一覧>

志望学部等	担当係	電話番号（直通）	所在地
教育学部	教育学部学務係	058-293-2359, 2206	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3025, 3326	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372, 2745	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3410, 2838	
社会システム経営学環	社会システム経営学環事務部	058-293-3440, 2179	
医学部医学科	医学部医学科学学務係	058-230-6075, 6077	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
医学部看護学科	医学部看護学科学務係	058-293-3217, 3218	
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

月曜日～金曜日（年末年始・祝日等を除く。）9:00から17:00まで

岐阜大学ホームページ <https://www.gifu-u.ac.jp/>

令和8年7月発行 編集：岐阜大学学務部入試課